預言者伝（スィーラ）

第 8 巻

マディーナ社会の建設

兄弟の契り・アザーン・マディーナ憲章・キブラの変更



Hj Che Alim Hj Che Haron
AK (Kelantan)
quranscience.my

© 2026 年 / 1448 AH Hj Che Alim Hj Che Haron AK (Kelantan) • quranscience.my • @QuranScienceMY
この電子書籍はムスリムのための無料版です — 販売禁止。

بِسْمِ اللَّهِ الرَّحْمَنِ الرَّحِيمِ

預言者伝（スィーラ）

第 8 巻

マディーナ社会の建設

ムハージルーンとアンサールの兄弟の契り、アザーン、マディーナ憲章、キブラの変更 — クルアーンと真正なハディースに基づいて

إِنَّمَا ٱلْمُؤْمِنُونَ إِخْوَةٌ فَأَصْلِحُوا۟ بَيْنَ أَخَوَيْكُمْ ۚ وَٱتَّقُوا۟ ٱللَّهَ لَعَلَّكُمْ تُرْحَمُونَ

「信者たちは兄弟である。だからあなたがたは兄弟の間の融和を図り、アッラーを畏れなさい。必ずあなたがたは慈悲にあずかるのである。」

部屋章 49:10

HJ CHE ALIM HJ CHE HARON

quranscience.my | @QuranScienceMY

© 2026 年 / 1448 AH quranscience.my — 無料の電子書籍。販売禁止。

謝辞

信仰する者たちの心を一つに結び、その恩恵によってかれらを兄弟とされたアッラーに讃えあれ。私たちの主、預言者ムハンマド ﷺ と、その家族と教友たちに祝福と平安あれ。

この電子書籍を、最愛の妻

ザハラ・モハマド・ラティフ；

愛する子どもたち、

ムハンマド・ハフィズ、ヌール・ハズワニ、アブドゥル・ハキム、ヌール・ヒダヤ、ノル・アキラ、ノル・アティカ；

そして義理の子どもたち、

ファジラ、マレク、ハニン、ファイリザル、フィルワンに捧げます。

『預言者伝（スィーラ）』第 8 巻は、アッラーの使徒 ﷺ がマディーナにどのように社会を築かれたかを語ります。その中心となったモスク、ムハージルーン（移住者）とアンサール（援助者）の兄弟の契り、最初のアザーン、マディーナ憲章、そしてカアバへのキブラの変更です。この知識が「役に立つ知識（イルムン・ユンタファウ・ビヒ）」となりますように。

この電子書籍の表紙について

この電子書籍の表紙には、人間も動物も描かれていません。描かれているのは、**朝のとても質素なモスク**です。**ナツメヤシの幹の柱**、**ナツメヤシの葉の屋根**、そして低い**日干しれんがの壁**があり、**朝の日差し**が屋根のすき間から砂の床に差し込んでいます。周りには、**マディーナのナツメヤシ園**が緑に広がっています。

そのモスクは初期の預言者のモスクを象徴しています。ナツメヤシの幹と葉で建てられ（『サヒーフ・ブハーリー』3932）、ムハージルーンとアンサールを一つにした新しい社会の中心でした。朝の光は、マディーナにおけるムスリムの新しい時代の始まりを象徴しています。

下部の紺色の帯は、**細い金色の線**に縁取られ、著者名が記される場所です。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

目次

マディーナ社会の建設 — はじめに

1. マディーナの新しい社会 — 図；イムラーン家章 3:103

2. モスク：社会の中心 — スィーラの注

3. アナスの家での兄弟の契り — 『サヒーフ・ブハーリー』2294

4. 「市場を教えてください」 — 『サヒーフ・ブハーリー』3780

5. 兄弟の組み合わせ — 表

6. 兄弟の相続とその廃止 — 女性章 4:33

7. 兄弟を優先したアンサール — 『サヒーフ・ブハーリー』3798

8. アンサールへの愛は信仰のしるし — 『サヒーフ・ブハーリー』17

9. アザーン：鐘からビラールの呼びかけへ — 『サヒーフ・ブハーリー』604

10. アブドゥッラー・ブン・ザイドの夢 — 『スナン・アビー・ダーウード』499

11. ビラール：アザーンの最初の声 — スィーラの注

12. マディーナ憲章 — 表；スィーラの注

13. 聖域としてのマディーナ — 『サヒーフ・ブハーリー』1870

14. マディーナの祝福 — 『サヒーフ・ブハーリー』1885、1876、1880

15. ユダヤ教徒の隣人とアーシューラーの斎戒 — 『サヒーフ・ブハーリー』2004

16. アブドゥッラー・ブン・ウバイと偽信の芽 — 『サヒーフ・ブハーリー』4566

17. ムハージルーン最初の赤子 — 『サヒーフ・ブハーリー』3909

18. キブラがカアバへ — 雌牛章 2:144；ブハーリー 4486

19. 礼拝中に向きを変える — 『サヒーフ・ブハーリー』403

20. ラマダーンの斎戒とザカート・アル＝フィトル — 雌牛章 2:183

21. 物語とその位置づけ — 図；表

22. 社会の四つの基本的な教え — 『ジャーミウ・アッ＝ティルミズィー』2485；『サヒーフ・ブハーリー』12

23. 戦いの許可 — 巡礼章 22:39–40；『サヒーフ・ブハーリー』3950

24. バドル以前のガズワとサリーヤ — 表；『サヒーフ・ブハーリー』3949、3728

25. ナフラのサリーヤと聖月 — 雌牛章 2:217

26. ヒジュラ暦 1〜2 年の年表 — 表

27. マディーナ社会についてのよくある質問 — 12 の質問

28. 教訓と結び

参考文献

支援と寄付

色の見方：緑の枠 = クルアーンの節；金色の枠 = ハディース；茶色の枠 = スィーラの注（スィーラ書の伝承）；青い表 = 比較。青い下線の伝承者名をクリックすると、sunnah.com の伝承者のページが開く。

マディーナ社会の建設

『預言者伝』第 7 巻は、アッラーの使徒 ﷺ がマディーナに到着し、モスクを建て始めるところで終わりました。ヒジュラは単なる場所の移動ではなく、**新しい社会**の始まりでした。この第 8 巻は、使徒がその社会をどのように築かれたかを語ります。それは剣や富によってではなく、**モスク、兄弟の契り、そして盟約**によるものでした。

最初の約 2 年の間に、マディーナでは**ムハージルーンとアンサールの兄弟の契り**、最初の**アザーン**、**マディーナ憲章**、カアバへの**キブラ**の変更、そして**ラマダーンの斎戒**の義務化がありました。どの出来事もクルアーンと真正なハディースに基づき、スィーラ書からの情報ははっきりと区別して示しています。

年表：マディーナでの最初の年月（ヒジュラ暦1〜2年）

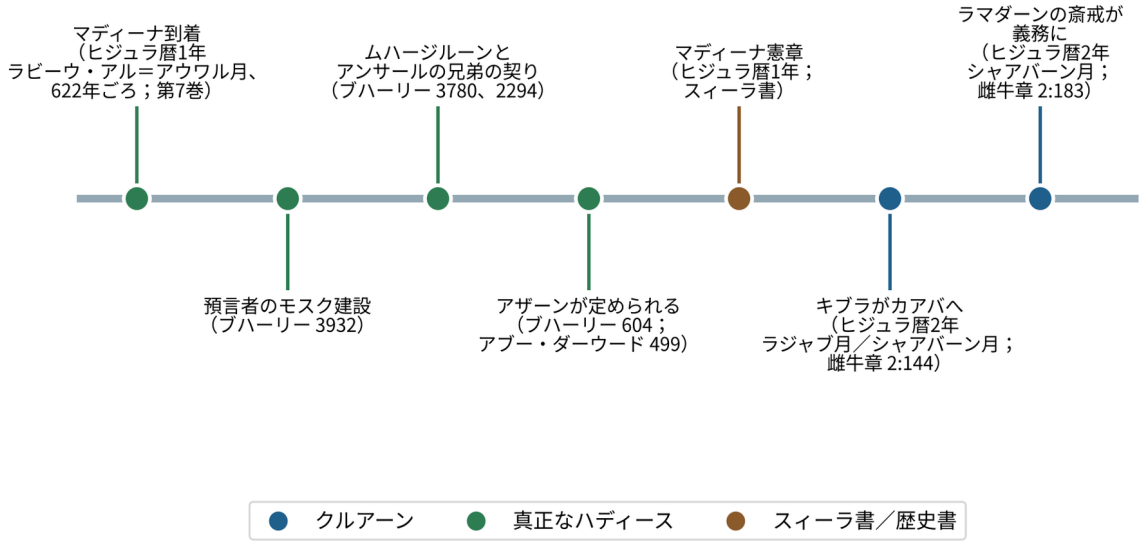


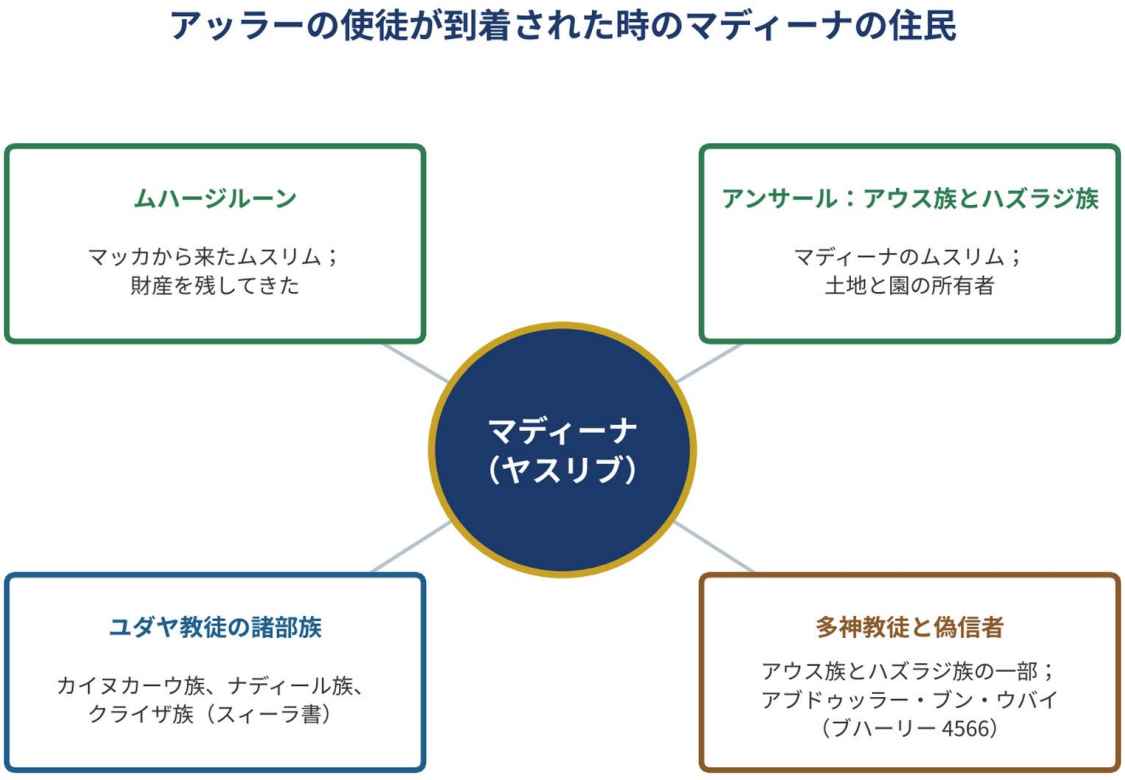
図 1：マディーナでの最初の数年の年表。

注：本書のクルアーンの節の日本語訳は三田了一訳による。各ハディースの等級はハディースの枠内に示している。スィーラ書からの情報は茶色の「スィーラの注」の枠に入れ、歴史的事実には出典のリンクを付している。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

マディーナの新しい社会

アッラーの使徒 ﷺ が来られたマディーナは、一様な町ではありませんでした。住民は、宗教も血筋も利害も異なるいくつかの集団から成っていました。



多様な社会：マディーナ憲章がこれらすべての集団の関係を整えた。

図 2：アッラーの使徒 ﷺ が到着された時のマディーナの住民集団。

アウス族とハズラジ族：敵から兄弟へ

マディーナの二つのアラブ部族、**アウス族とハズラジ族**は、長い間互いに戦ってきました。最後の戦いである**ブアースの戦い**は、ヒジュラのわずか数年前のことでした。アーイシャ رضى الله عنها はこう言いました。「**ブアースの日は、アッラーがその使徒のために前もって備えられた日でした**」。その戦いがかれらの有力者たちを弱め、かれらがイスラームを受け入れやすくなったからです（『サヒーフ・ブハーリー』3777）。

アッラーはこの恩恵を思い起こさせます。「**あなたがたに対するアッラーの恩恵を心に銘じなさい。初めあなたがたが（互いに）敵であった時**」（無明時代に）、かれはあなたがたの心を（愛情で）結び付け、その御恵みによりあなたがたは兄弟となったのである。イブン・カスィールは、この節がアウス族とハズラジ族について下されたと述べています『タフスィール・イブン・カスィール』3:103。

教訓：イスラームは信仰を変えただけでなく、根深い**敵意をいやし**ました。マディーナでのアッラーの使徒 ﷺ の最初の務めは、**心を一つにすること**でした。

モスク：社会の中心

マディーナでアッラーの使徒 ﷺ が最初に建てられたのは**モスク**でした（第 7 巻）。預言者のモスクはとても質素で、柱は**ナツメヤシの幹**、屋根は**ナツメヤシの葉**、壁は**日干しれんが**でした（『サヒーフ・ブハーリー』3932）。それでも、そこは社会のあらゆる営みの中心となりました。

預言者のモスクの役割	説明
礼拝の場	一日五回の集団礼拝と金曜礼拝。
学びの中心	アッラーの使徒 ﷺ がそこでクルアーンと諸規定を教えられた。
客人と貧しい人の家	アフル・アッ＝スッファ――「イスラームの客人」――がその軒下に住んだ（ブハーリー 6452）。
行政の中心	使節を迎え、話し合い、決定を下した。
社会を一つにする場	ムハージルーンとアンサールが一日五回顔を合わせた。

スィーラの注：アフル・アッ＝スッファ

預言者のモスクの奥には**スッファ**という屋根付きの軒があり、マディーナに家族も家もない貧しい教友たちが住んでいました。後にその一人となったアブー・フライラ رضي الله عنه は、かれらを「**イスラームの客人**」と呼んでいます（『サヒーフ・ブハーリー』6452）。アッラーの使徒 ﷺ は、受け取った施しをかれらに送り、贈り物もかれらと分かち合われました。

その数は時によって変わり、スィーラ書には数十人に及んだこともあると記されています。かれらはイスラーム最初の学び舎の**専任の学生**でした。

参照：

『サヒーフ・ブハーリー』6452。https://sunnah.com/bukhari:6452

教訓：イスラームにおけるモスクは礼拝のための建物にとどまらず、**社会の心臓**です。建物が質素であっても、その役割の偉大さは少しも減りません。

アナスの家での兄弟の契り

ムハージルーンは**手ぶら**でマディーナに着きました。マッカに家も財産も商売も残してきたのです。この問題を解決するため、アッラーの使徒 ﷺ は前例のない手を打たれました。ムハージル一人ひとりをアンサール一人と**兄弟として結ぶ**ことです。アナス・ブン・マーリク رضي الله عنه が、その契りが結ばれた場所を語っています。

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 2294 番

حَدَّثَنَا مُحَمَّدُ بْنُ الصَّبَّاحِ، حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ بْنُ زَكَرِيَّاءَ، حَدَّثَنَا عَاصِمٌ، قَالَ قُلْتُ لأَنَسٍ رضى الله عنه أَبَلَغَكَ أَنَّ النَّبِيَّ صلى الله عليه وسلم قَالَ لاَ حِلْفَ فِي الإِسْلاَمِ. فَقَالَ قَدْ حَالَفَ النَّبِيُّ صلى الله عليه وسلم بَيْنَ قُرَيْشٍ وَالأَنْصَارِ فِي دَارِي.

訳：

アースィムは言った。私はアナス رضي الله عنه に尋ねた。「預言者 ﷺ が『イスラームに同盟（ヒルフ）はない』と言われたことを、あなたは聞いていますか。」かれは答えた。**「預言者 ﷺ は、私の家でクライシュ族とアンサールの間に兄弟の契りを結ばれました。」**

伝承経路 イマーム・ブハーリーの伝承：ムハンマド・ブン・アッ＝サッバーフ ← イスマーイール・ブン・ザカリーヤー ← アースィム（アル＝アフワル） ← アナス・ブン・マーリク رضي الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』保証の書、ハディース第 2294 番。ムスリムも伝えている（第 2529 番）。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠：https://sunnah.com/bukhari:2294

アナスは「**イスラームにヒルフはない**」という言葉についての問いに答えたのです。学者たちによれば、否定されたのは不正において互いをかばい合う**無明時代式の盟約**であり、善において**信仰に基づき助け合う兄弟の契り**は、引き続き定められています。

スィーラの注：何人が兄弟として結ばれたのか

イブン・サアドとスィーラ書は、アッラーの使徒 ﷺ が、ヒジュラの数か月後、アナス・ブン・マーリクの家で**九十人**――ムハージルーン四十五人とアンサール四十五人――を兄弟として結ばれたと伝えています。この人数はスィーラ書によるもので、真正なハディースが述べているのは場所（アナスの家）だけです。

参照：

イブン・サアド『大列伝（タバカート）』；ムバーラクフーリー『封印された美酒（アッ＝ラヒーク・アル＝マフトゥーム）』。

この兄弟の契りは、アッラーの御言葉「**信者たちは兄弟である**」を生きたものにしました。この節は本書の標語でもあります『タフスィール・イブン・カスィール』49:10。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

「市場を教えてください」

兄弟の契りで最も有名な話は、ムハージルの**アブドゥッラフマーン・ブン・アウフ**と、裕福なアンサールの**サアド・ブン・アッ＝ラビーウ**の話です。一方には自己犠牲の極み、もう一方には自尊心の極みが示されています。

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 3780 番

حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ بْنُ عَبْدِ اللَّهِ، قَالَ حَدَّثَنِي إِبْرَاهِيمُ بْنُ سَعْدٍ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ جَدِّهِ، قَالَ لَمَّا قَدِمُوا الْمَدِينَةَ آخَى رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم بَيْنَ عَبْدِ الرَّحْمَنِ وَسَعْدِ بْنِ الرَّبِيعِ، قَالَ لِعَبْدِ الرَّحْمَنِ إِنِّي أَكْثَرُ الأَنْصَارِ مَالاً فَأَقْسِمُ مَالِي نِصْفَيْنِ، وَلِي امْرَأَتَانِ، فَانْظُرْ أَعْجَبَهُمَا إِلَيْكَ فَسَمِّهَا لِي أُطَلِّقْهَا، فَإِذَا انْقَضَتْ عِدَّتُهَا فَتَزَوَّجْهَا. قَالَ بَارَكَ اللَّهُ لَكَ فِي أَهْلِكَ وَمَالِكَ، أَيْنَ سُوقُكُمْ فَدَلُّوهُ عَلَى سُوقِ بَنِي قَيْنُقَاعَ، فَمَا انْقَلَبَ إِلاَّ وَمَعَهُ فَضْلٌ مِنْ أَقِطٍ وَسَمْنٍ، ثُمَّ تَابَعَ الْغُدُوَّ، ثُمَّ جَاءَ يَوْمًا وَبِهِ أَثَرُ صُفْرَةٍ فَقَالَ النَّبِيُّ صلى الله عليه وسلم مَهْيَمْ. قَالَ تَزَوَّجْتُ. قَالَ كَمْ سُقْتَ إِلَيْهَا. قَالَ نَوَاةً مِنْ ذَهَبٍ. أَوْ وَزْنَ نَوَاةٍ مِنْ ذَهَبٍ، شَكَّ إِبْرَاهِيمُ.

訳：

イブラーヒーム・ブン・アブドゥッラフマーン・ブン・アウフは、その父から伝えて言った。**かれら（ムハージルーン）がマディーナに着いた時、アッラーの使徒 ﷺ はアブドゥッラフマーン（・ブン・アウフ）とサアド・ブン・アッ＝ラビーウを兄弟として結ばれた。サアドはアブドゥッラフマーンに言った。「私はアンサールの中で最も財産が多い者です。私の財産を二つに分けましょう（半分はあなたに）。また私には二人の妻がいます。気に入った方を見て教えてください。私が離婚し、その待婚期間が終わったら、彼女と結婚してください。」アブドゥッラフマーンは言った。「アッラーがあなたの家族と財産を祝福されますように。あなたがたの市場はどこですか。」**人々がかれにカイヌカーウ族の市場を教えると、かれはチーズとバターの儲けを持たずに帰ることはなかった。かれは市場に通い続け、ある日、黄色い香料の跡をつけてやって来た。預言者 ﷺ は尋ねられた。「**これは何か。**」かれは答えた。「私は結婚しました。」使徒は

尋ねられた。「**婚資（マフル）はいくらか。**」かれは答えた。「ナツメヤシの種ほどの重さの金一粒です。」

伝承経路 イマーム・ブハーリーの伝承：イスマーイール・ブン・アブディッラー ← イブラーヒーム・ブン・サアド ← その父（サアド・ブン・イブラーヒーム） ← その祖父（イブラーヒーム・ブン・アブドゥッラフマーン・ブン・アウフ）。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』援助者たちの美徳の書、預言者ﷺによるムハージルーンとアンサールの兄弟の契りの章、ハディース第 3780 番。

等級： サヒーフ（真正）―『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠：https://sunnah.com/bukhari:3780

二つの美しい人格

サアド・ブン・アッ＝ラビーウ（アンサール）	アブドゥッラフマーン・ブン・アウフ（ムハージル）
財産の半分を差し出した	兄弟の財産に祝福を祈った
頼まれずとも気前がよかった	尊厳を守り、他人に頼ろうとしなかった
イーサール――兄弟を優先する	イッファ――求めることから身を慎む
持っているものを与えた	「市場を教えてください」――自ら努力した

アブドゥッラフマーンは**カイヌカーウ族の市場**へ行き、ごくわずかな元手で商売をして、ほどなく結婚できるまでになりました。のちにかれは教友の中でも**最も裕福**で、最も気前のよい一人となりました。アッラーの使徒 ﷺ は別のハディースでもこう教えておられます。「**上の手は下の手よりも優れている**」（『サヒーフ・ブハーリー』1427）。

一方サアド・ブン・アッ＝ラビーウ رضي الله عنه は、スィーラ書によれば**ウフドの戦い**で殉教しました。財産を差し出そうとしたのと同じように、自らの命を捧げたのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 | ページ：16 / 78

兄弟の組み合わせ

アッラーの使徒 ﷺ は兄弟の組み合わせを賢明に選ばれ、しばしば**互いに補い合う**者同士を組ませられました。ハディースとスィーラ書に挙げられている組み合わせの例：

ムハージル	アンサールの兄弟と典拠
アブドッラフマーン・ブン・アウフ	サアド・ブン・アッ＝ラビーウ ― 『サヒーフ・ブハーリー』3780
サルマーン・アル＝ファーリスィー	アブー・アッ＝ダルダー ― 『サヒーフ・ブハーリー』1968
アブー・バクル・アッ＝スィッディーク	ハーリジャ・ブン・ザイド ― スィーラ書
ウマル・ブン・アル＝ハッターブ	イトバーン・ブン・マーリク ― スィーラ書
アブー・ウバイダ・ブン・アル＝ジャッラーフ	サアド・ブン・ムアーズ ― スィーラ書
ムスアブ・ブン・ウマイル	アブー・アイユーブ・アル＝アンサーリー ― スィーラ書

サルマーンとアブー・アッ＝ダルダー

真正なハディースは、**サルマーン**が兄弟の**アブー・アッ＝ダルダー**を訪ねた時の話を通して、この兄弟の契りが実生活でどのように働いたかを伝えています。

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 1968 番

حَدَّثَنَا مُحَمَّدُ بْنُ بَشَّارٍ، حَدَّثَنَا جَعْفَرُ بْنُ عَوْنٍ، حَدَّثَنَا أَبُو الْعُمَيْسِ، عَنْ عَوْنِ بْنِ أَبِي جُحَيْفَةَ، عَنْ أَبِيهِ، قَالَ آخَى النَّبِيُّ صلى الله عليه وسلم بَيْنَ سَلْمَانَ، وَأَبِي الدَّرْدَاءِ، فَزَارَ سَلْمَانُ أَبَا الدَّرْدَاءِ، فَرَأَى أُمَّ الدَّرْدَاءِ مُتَبَذِّلَةً. فَقَالَ لَهَا مَا شَأْنُكِ قَالَتْ أَخُوكَ أَبُو الدَّرْدَاءِ لَيْسَ لَهُ حَاجَةٌ فِي الدُّنْيَا. فَجَاءَ أَبُو الدَّرْدَاءِ، فَصَنَعَ لَهُ طَعَامًا. فَقَالَ كُلْ. قَالَ فَإِنِّي صَائِمٌ. قَالَ مَا أَنَا بِآكِلٍ حَتَّى تَأْكُلَ. قَالَ فَأَكَلَ. فَلَمَّا كَانَ اللَّيْلُ ذَهَبَ أَبُو الدَّرْدَاءِ يَقُومُ. قَالَ نَمْ.

فَنَامَ، ثُمَّ ذَهَبَ يَقُومُ. فَقَالَ نَمْ. فَلَمَّا كَانَ مِنْ آخِرِ اللَّيْلِ قَالَ سَلْمَانُ قُمِ الآنَ. فَصَلَّيَا، فَقَالَ لَهُ سَلْمَانُ إِنَّ لِرَبِّكَ عَلَيْكَ حَقًّا، وَلِنَفْسِكَ عَلَيْكَ حَقًّا، وَلأَهْلِكَ عَلَيْكَ حَقًّا، فَأَعْطِ كُلَّ ذِي حَقٍّ حَقَّهُ. فَأَتَى النَّبِيَّ صلى الله عليه وسلم فَذَكَرَ ذَلِكَ لَهُ، فَقَالَ النَّبِيُّ صلى الله عليه وسلم صَدَقَ سَلْمَانُ.

訳：

アブー・ジュハイファ رضي الله عنه は言った。**預言者 ﷺ はサルマーンとアブー・アッ＝ダルダーを兄弟として結ばれた。サルマーンがアブー・アッ＝ダルダーを訪ねると、ウンム・アッ＝ダルダーが粗末な身なりをしていた。かれが「どうしてそのような様子なのですか」と尋ねると、彼女は「あなたの兄弟アブー・アッ＝ダルダーは、現世に何の望みも持っていないのです」と答えた。**アブー・アッ＝ダルダーが来て食事を用意し、「食べてください。私は斎戒しています」と言った。サルマーンは「あなたが食べるまで、私は食べません」と言ったので、かれは食べた。夜になると、アブー・アッ＝ダルダーは礼拝に立とうとしたが、サルマーンが「眠りなさい」と言ったので眠った。また起きようとすると、サルマーンは「眠りなさい」と言った。夜の終わりになると、サルマーンは「さあ、今起きなさい」と言い、二人で礼拝した。**サルマーンはかれに言った。「本当にあなたの主にはあなたに対する権利があり、あなた自身にもあなたに対する権利があり、あなたの家族にもあなたに対する権利があります。だから、権利を持つ者それぞれにその権利を与えなさい。」**アブー・アッ＝ダルダーは預言者 ﷺ のもとに来てこのことを話すと、預言者 ﷺ は言われた。**「サルマーンは正しい。」**

伝承経路 イマーム・ブハーリーの伝承：ムハンマド・ブン・バッシャール ← ジャアファル・ブン・アウン ← アブー・アル＝ウマイス ← アウン・ブン・アビー・ジュハイファ ← その父（アブー・ジュハイファ） رضي الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』斎戒の書、ハディース第 1968 番。

等級： サヒーフ（真正）―『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠：https://sunnah.com/bukhari:1968

教訓：イスラームの兄弟の契りは財産を分け合うことだけではなく、現世と来世の善のために**互いに忠告し合う**ことでもあります。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

兄弟の相続とその廃止

初期には、この兄弟の絆はとても強く、ムハージルは自分の親族ではなく、アンサールの兄弟の財産を**相続**しました。イブン・アッバース رضى الله عنهما は、この規定が後に**廃止され**、残ったのは**援助と支えと忠告**、そして遺言だけであると説明しています（『サヒーフ・ブハーリー』2292）。

イブン・アッバースはこれをアッラーの御言葉に結びつけています。「**各人のために，われはその父母と近親が残すものの相続者を決めた**」『タフスィール・イブン・カスィール』4:33。

時期	兄弟の契りの規定
ヒジュラの初期	ムハージルーンの必要のため、信仰の兄弟同士が相続し合った。
社会が安定した後	相続は近親者に戻された（女性章 4:33；戦利品章 8:75）。
今日まで続くもの	助け合い、支え、忠告、そして遺言。

教訓：イスラームの法は**段階的**で、状況にふさわしいものです。差し迫った必要が過ぎると、兄弟の精神を失うことなく、規定は本来の形に戻りました。

兄弟を優先したアンサール

クルアーンはアンサールを、めったに見られない一つの美徳で称えています。それは**イーサール**、つまり自分自身が必要としていても他者を優先することです。アブー・フライラ رضى الله عنه は、その節が下されるきっかけとなったアンサールの一家の話を伝えています。

ハディース — 『サヒーフ・ブハーリー』第 3798 番

حَدَّثَنَا مُسَدَّدٌ، حَدَّثَنَا عَبْدُ اللَّهِ بْنُ دَاوُدَ، عَنْ فُضَيْلِ بْنِ غَزْوَانَ، عَنْ أَبِي حَازِمٍ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ ـ رضى الله عنه ـ أَنَّ رَجُلاً، أَتَى النَّبِيَّ صلى الله عليه وسلم فَبَعَثَ إِلَى نِسَائِهِ فَقُلْنَ مَا مَعَنَا إِلاَّ الْمَاءُ. فَقَالَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم مَنْ يَضُمُّ، أَوْ يُضِيفُ هَذَا. فَقَالَ رَجُلٌ مِنَ الأَنْصَارِ أَنَا. فَانْطَلَقَ بِهِ إِلَى امْرَأَتِهِ، فَقَالَ أَكْرِمِي ضَيْفَ رَسُولِ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم فَقَالَتْ مَا عِنْدَنَا إِلاَّ قُوتُ صِبْيَانِي. فَقَالَ هَيِّئِي طَعَامَكِ، وَأَصْبِحِي سِرَاجَكِ، وَنَوِّمِي صِبْيَانَكِ إِذَا أَرَادُوا عَشَاءً. فَهَيَّأَتْ طَعَامَهَا وَأَصْبَحَتْ سِرَاجَهَا، وَنَوَّمَتْ صِبْيَانَهَا، ثُمَّ قَامَتْ كَأَنَّهَا تُصْلِحُ سِرَاجَهَا فَأَطْفَأَتْهُ، فَجَعَلاَ يُرِيَانِهِ أَنَّهُمَا يَأْكُلاَنِ، فَبَاتَا طَاوِيَيْنِ، فَلَمَّا أَصْبَحَ، غَدَا إِلَى رَسُولِ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم فَقَالَ ضَحِكَ اللَّهُ اللَّيْلَةَ ـ أَوْ عَجِبَ ـ مِنْ فَعَالِكُمَا فَأَنْزَلَ اللَّهُ {وَيُؤْثِرُونَ عَلَى أَنْفُسِهِمْ وَلَوْ كَانَ بِهِمْ خَصَاصَةٌ وَمَنْ يُوقَ شُحَّ نَفْسِهِ فَأُولَئِكَ هُمُ الْمُفْلِحُونَ}

訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه は言った。**ある男が預言者 ﷺ のもとに来た。使徒は妻たちのもとに使いを出されたが、妻たちは「私たちのところには水しかありません」と言った。アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「誰がこの客をもてなすか。」アンサールの一人の男が「私が」と言った。かれは客を妻のもとに連れて帰り、「アッラーの使徒 ﷺ の客を手厚くもてなしなさい」と言った。妻は「私たちには子どもたちの食べ物しかありません」と言った。かれは言った。「食事の用意をし、灯りをともし、子どもたちが夕食を欲しがったら寝かしつけなさい。」妻は食事を用意し、灯りをともし、子どもたち**

を寝かしつけた。それから灯りを直すふりをして立ち上がり、それを消した。二人は食べるふりをして、空腹のまま眠った。翌朝、かれがアッラーの使徒 ﷺ のもとへ行くと、使徒は言われた。「昨夜、アッラーはあなたがた二人の行いに笑われた――あるいは感嘆された。」そしてアッラーは下された。｛自分自身に先んじて（かれらに）与える。仮令自分は窮乏していても……｝（集合章 59:9）。

伝承経路 イマーム・ブハーリーの伝承：ムサッダド ← アブドゥッラー・ブン・ダーウード ← フダイル・ブン・ガズワーン ← アブー・ハーズィム ← アブー・フライラ رضى الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』援助者たちの美徳の書、ハディース第 3798 番。ムスリムも伝えている（第 2054 番）。ムスリムはこの男の名をアブー・タルハとしている。

等級： サヒーフ（真正）―『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠：https://sunnah.com/bukhari:3798

下された節は、かれらを「**（移住して）かれらのもとに来た者を愛護し**」、たとえ窮乏していても自分自身よりかれらを優先する人々として描いています『タフスィール・イブン・カスィール』59:9。

消された灯り

この夫婦の知恵に目を留めてください。二人が**灯りを消した**のは、主人たちが食べていないことに客が気づかず、気兼ねせずに食べられるようにするためでした。かれらは**客に恩を着せることなく**もてなしたのです。ムスリムは、この男が**アブー・タルハ** رضى الله عنه であったと伝えています（『サヒーフ・ムスリム』2054）。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron ― ムスリムのための無料版 |

アンサールへの愛は信仰のしるし

アンサールの自己犠牲はあまりに大きく、アッラーの使徒 ﷺ は**かれらを愛すること**を信仰の一部とされました。

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 17 番

حَدَّثَنَا أَبُو الْوَلِيدِ، قَالَ حَدَّثَنَا شُعْبَةُ، قَالَ أَخْبَرَنِي عَبْدُ اللَّهِ بْنُ عَبْدِ اللَّهِ بْنِ جَبْرٍ، قَالَ سَمِعْتُ أَنَسًا، عَنِ النَّبِيِّ صلى الله عليه وسلم قَالَ آيَةُ الإِيمَانِ حُبُّ الأَنْصَارِ، وَآيَةُ النِّفَاقِ بُغْضُ الأَنْصَارِ.

訳：

アナス رضى الله عنه は、預言者 ﷺ がこう言われたと伝えている。「**信仰のしるしはアンサールを愛することであり、偽信のしるしはアンサールを憎むことである。**」

伝承経路 イマーム・ブハーリーの伝承：アブー・アル＝ワリード ← シュウバ ← アブドゥッラー・ブン・アブディッラー・ブン・ジャブル ← アナス رضى الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』信仰の書、アンサールを愛することは信仰のしるしの章、ハディース第 17 番。ムスリムも伝えている（第 74 番）。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠：https://sunnah.com/bukhari:17

ナツメヤシ園を差し出したアンサール

アンサールは預言者 ﷺ にこう申し出ました。「**ナツメヤシ園を私たちと兄弟たち（ムハージルーン）の間で分けてください。**」使徒は言われました。「**いや。**」そこでアンサールは言いました。「あなたがた（ムハージルーン）が私たちの園で働き、私たちはその実りをあなたがたと分け合いましょう。」ムハージルーンは「聞きました、従います」と答えました（『サヒーフ・ブハーリー』2325）。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron ― ムスリムのための無料版

この解決はとても賢明でした。アンサールは**土地の所有者のまま**で、ムハージルーンは尊厳を保ちながら**働いて実りを得**、双方が利益を得たのです。これはイスラームにおける**経済的協力**の早い例です。

誰が	貢献
アンサール	土地、園、家、そして保護
ムハージルーン	労働力、商売の技、そして知識
アッラーの使徒 ﷺ	指導力、公正さ、そして心の結合

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

アザーン：鐘からビラールの呼びかけへ

マッカでは、ムスリムは公然と礼拝を呼びかけることができませんでした。マディーナでは、礼拝の時刻に人々を集める方法が必要になりました。イブン・ウマル رضى الله عنهما がその話し合いを伝えています。

ハディース — 『サヒーフ・ブハーリー』第 604 番

حَدَّثَنَا مَحْمُودُ بْنُ غَيْلاَنَ، قَالَ حَدَّثَنَا عَبْدُ الرَّزَّاقِ، قَالَ أَخْبَرَنَا ابْنُ جُرَيْجٍ، قَالَ أَخْبَرَنِي نَافِعٌ، أَنَّ ابْنَ عُمَرَ، كَانَ يَقُولُ كَانَ الْمُسْلِمُونَ حِينَ قَدِمُوا الْمَدِينَةَ يَجْتَمِعُونَ فَيَتَحَيَّنُونَ الصَّلاَةَ، لَيْسَ يُنَادَى لَهَا، فَتَكَلَّمُوا يَوْمًا فِي ذَلِكَ، فَقَالَ بَعْضُهُمْ اتَّخِذُوا نَاقُوسًا مِثْلَ نَاقُوسِ النَّصَارَى. وَقَالَ بَعْضُهُمْ بَلْ بُوقًا مِثْلَ قَرْنِ الْيَهُودِ. فَقَالَ عُمَرُ أَوَلاَ تَبْعَثُونَ رَجُلاً يُنَادِي بِالصَّلاَةِ. فَقَالَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم يَا بِلاَلُ قُمْ فَنَادِ بِالصَّلاَةِ.

訳：

イブン・ウマル رضى الله عنهما は言った。**ムスリムたちはマディーナに着くと、集まって礼拝の時刻を見計らっていた。誰もそのために呼びかける者はいなかった。ある日、かれらはそのことを話し合った。ある者は「キリスト教徒の鐘のような鐘を使おう」と言い、別の者は「ユダヤ教徒の角笛のような角笛を使おう」と言った。ウマルは言った。「礼拝へ呼びかける男を一人遣わしてはどうか。」アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「ビラールよ、立って礼拝へ呼びかけなさい。」**

伝承経路 イマーム・ブハーリーの伝承：マフムード・ブン・ガイラーン ← アブドゥッラッザーク ← イブン・ジュライジュ ← ナーフィウ ← イブン・ウマル رضى الله عنهما。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』アザーンの書、アザーンの始まりの章、ハディース第 604 番。ムスリムも伝えている（第 377 番）。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠：https://sunnah.com/bukhari:604

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 | ページ：25 / 78

提案	由来
鐘（ナークース）	キリスト教徒のやり方
角笛（ブーク）	ユダヤ教徒のやり方
一人の男が呼びかける	ウマルの提案——採用された

教訓：アッラーの使徒 ﷺ は教友たちと**協議され**、イスラームは他の宗教をまねない**独自の**しるしを選びました。アッラーの御名を唱える人間の声は、今日に至るまでこのウンマのしるしとなっています。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

アブドゥッラー・ブン・ザイドの夢

今日私たちが耳にするアザーンの文言は、**真実の夢**に由来します。それはアンサールの教友アブドゥッラー・ブン・ザイド رضى الله عنه が見たものでした。

ハディース ― 『スナン・アビー・ダーウード』第 499 番

حَدَّثَنَا مُحَمَّدُ بْنُ مَنْصُورٍ الطُّوسِيُّ، حَدَّثَنَا يَعْقُوبُ، حَدَّثَنَا أَبِي، عَنْ مُحَمَّدِ بْنِ إِسْحَاقَ، حَدَّثَنِي مُحَمَّدُ بْنُ إِبْرَاهِيمَ بْنِ الْحَارِثِ التَّيْمِيُّ، عَنْ مُحَمَّدِ بْنِ عَبْدِ اللَّهِ بْنِ زَيْدِ بْنِ عَبْدِ رَبِّهِ، قَالَ حَدَّثَنِي أَبِي عَبْدُ اللَّهِ بْنُ زَيْدٍ، قَالَ لَمَّا أَمَرَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم بِالنَّاقُوسِ يُعْمَلُ لِيُضْرَبَ بِهِ لِلنَّاسِ لِجَمْعِ الصَّلاَةِ طَافَ بِي وَأَنَا نَائِمٌ رَجُلٌ يَحْمِلُ نَاقُوسًا فِي يَدِهِ فَقُلْتُ يَا عَبْدَ اللَّهِ أَتَبِيعُ النَّاقُوسَ قَالَ وَمَا تَصْنَعُ بِهِ فَقُلْتُ نَدْعُو بِهِ إِلَى الصَّلاَةِ. قَالَ أَفَلاَ أَدُلُّكَ عَلَى مَا هُوَ خَيْرٌ مِنْ ذَلِكَ فَقُلْتُ لَهُ بَلَى. قَالَ فَقَالَ تَقُولُ اللَّهُ أَكْبَرُ اللَّهُ أَكْبَرُ اللَّهُ أَكْبَرُ اللَّهُ أَكْبَرُ أَشْهَدُ أَنْ لاَ إِلَهَ إِلاَّ اللَّهُ أَشْهَدُ أَنْ لاَ إِلَهَ إِلاَّ اللَّهُ أَشْهَدُ أَنَّ مُحَمَّدًا رَسُولُ اللَّهِ أَشْهَدُ أَنَّ مُحَمَّدًا رَسُولُ اللَّهِ حَىَّ عَلَى الصَّلاَةِ حَىَّ عَلَى الصَّلاَةِ حَىَّ عَلَى الْفَلاَحِ حَىَّ عَلَى الْفَلاَحِ اللَّهُ أَكْبَرُ اللَّهُ أَكْبَرُ لاَ إِلَهَ إِلاَّ اللَّهُ قَالَ ثُمَّ اسْتَأْخَرَ عَنِّي غَيْرَ بَعِيدٍ ثُمَّ قَالَ وَتَقُولُ إِذَا أَقَامَتِ الصَّلاَةَ اللَّهُ أَكْبَرُ اللَّهُ أَكْبَرُ أَشْهَدُ أَنْ لاَ إِلَهَ إِلاَّ اللَّهُ أَشْهَدُ أَنَّ مُحَمَّدًا رَسُولُ اللَّهِ حَىَّ عَلَى الصَّلاَةِ حَىَّ عَلَى الْفَلاَحِ قَدْ قَامَتِ الصَّلاَةُ قَدْ قَامَتِ الصَّلاَةُ اللَّهُ أَكْبَرُ اللَّهُ أَكْبَرُ لاَ إِلَهَ إِلاَّ اللَّهُ فَلَمَّا أَصْبَحْتُ أَتَيْتُ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم فَأَخْبَرْتُهُ بِمَا رَأَيْتُ فَقَالَ إِنَّهَا لَرُؤْيَا حَقٌّ إِنْ شَاءَ اللَّهُ فَقُمْ مَعَ بِلاَلٍ فَأَلْقِ عَلَيْهِ مَا رَأَيْتَ فَلْيُؤَذِّنْ بِهِ فَإِنَّهُ أَنْدَى صَوْتًا مِنْكَ. فَقُمْتُ مَعَ بِلاَلٍ فَجَعَلْتُ أُلْقِيهِ عَلَيْهِ وَيُؤَذِّنُ بِهِ - قَالَ - فَسَمِعَ ذَلِكَ عُمَرُ بْنُ الْخَطَّابِ وَهُوَ فِي بَيْتِهِ فَخَرَجَ يَجُرُّ رِدَاءَهُ وَيَقُولُ وَالَّذِي بَعَثَكَ بِالْحَقِّ يَا رَسُولَ اللَّهِ لَقَدْ رَأَيْتُ مِثْلَ مَا رَأَى. فَقَالَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم فَلِلَّهِ الْحَمْدُ.

訳：

アブドゥッラー・ブン・ザイド رضى الله عنه は言った。**アッラーの使徒ﷺが、人々を礼拝に集めるために打ち鳴らす鐘を作るよう命じられた時、私は眠りの中で、手に鐘を持っ**

た一人の男が私の周りを回るのを見た。私は言った。「アッラーのしもべよ、その鐘を売ってくれませんか。」かれは言った。「それをどうするのか。」私は答えた。「それで人々を礼拝に呼ぶのです。」かれは言った。「それよりも良いものを教えようか。」私は「はい」と答えた。かれは言った。「こう唱えなさい。アッラーフ・アクバル、アッラーフ・アクバル……」――そしてかれはアザーンとイカーマの文言を教えた。朝になって私はアッラーの使徒 ﷺ のもとへ行き、そのことを告げた。使徒は言われた。「それは真実の夢である、イン・シャー・アッラー。ビラールと共に立ち、あなたが見たことをかれに教え、かれにそれを唱えさせなさい。かれの声はあなたの声よりもよく通るのだから。」ウマル・ブン・アル＝ハッターブは家でそれを聞くと、衣を引きずりながら出て来て言った。「**あなたを真理と共に遣わした方にかけて、アッラーの使徒よ、私もかれが見たのと同じ夢を見ました。**」アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「**アッラーに讃えあれ。**」

伝承経路 イマーム・アブー・ダーウードの伝承：ムハンマド・ブン・マンスール・アッ＝トゥースィー ← ヤアクーブ（・ブン・イブラーヒーム） ← その父（イブラーヒーム・ブン・サアド） ← ムハンマド・ブン・イスハーク ← ムハンマド・ブン・イブラーヒーム・アッ＝タイミー ← ムハンマド・ブン・アブディッラー・ブン・ザイド ← その父アブドゥッラー・ブン・ザイド رضي الله عنه。

出典： イマーム・アブー・ダーウード『スナン・アビー・ダーウード』礼拝の書、アザーンの仕方の章、ハディース第 499 番。アザーンとイカーマの文言は訳文では省略している。

評価： ハサン・サヒーフ――アルバーニーがハサン・サヒーフと評価（『サヒーフ・スナン・アビー・ダーウード』）。

典拠：https://sunnah.com/abudawud:499

二つの伝承を合わせて理解する

イブン・ウマルのハディース（ブハーリー 604）は、ウマルが一人の男による呼びかけを提案し、ビラールが呼びかけるよう命じられたと述べています。一方アブドゥッラー・ブン・ザイドのハディースは、アザーンの文言が夢の中で教えられたと述べています。イブン・ハジャルはこれらを合わせて、ビラールの最初の呼びかけは「**アッ＝サラートゥ・ジャーミア（礼拝に集まれ）**」という一般的な呼びかけであり、その後、完全なアザーンの文言がアブドゥッラー・ブン・ザイドの夢の後に定められ、**認められ**ました。認めたのはアッラーの使徒 ﷺ であり、さらに**裏付け**となったのがウマルの夢であったと説明しています。

アザーンの文言	意味
アッラーフ・アクバル（4回）	アッラーは最も偉大なり
アシュハドゥ・アン・ラー・イラーハ・イッラッラー（2回）	私はアッラーのほかに神はないと証言する
アシュハドゥ・アンナ・ムハンマダン・ラスールッラー（2回）	私はムハンマドがアッラーの使徒であると証言する
ハイヤ・アラッサラー（2回）	礼拝に来たれ
ハイヤ・アラルファラーフ（2回）	成功に来たれ
アッラーフ・アクバル（2回）；ラー・イラーハ・イッラッラー	アッラーは最も偉大なり；アッラーのほかに神はない

教訓：夢を見たのはアブドゥッラー・ブン・ザイドでしたが、アッラーの使徒 ﷺ は**声がよく通る**という理由で**ビラール**を選ばれました。人はそれぞれ**自分の長所**に応じて務めを与えられるのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

ビラール：アザーンの最初の声

ビラール・ブン・ラバーフ رضي الله عنه は、「**唯一なる方、唯一なる方（アハド、アハド）**」と言い続けたためにマッカの砂漠で拷問されたアビシニア系の元奴隷でした（第4巻）。今やかれはイスラーム**最初のムアッズィン（アザーンを唱える人）**となり、その声が一日五回、マディーナ全体を礼拝へと呼んだのです。

ウマル・ブン・アル＝ハッターブ رضي الله عنه はこう言いました。「**アブー・バクルは私たちの長であり、かれは私たちの長を解放した**」――つまりビラールのことです（『サヒーフ・ブハーリー』3754）。カリフとなる人物が、元奴隷を「**私たちの長**」と呼んだのです。

> **スィーラの注：ビラールと、逝去された預言者** ﷺ
>
> 歴史書によれば、アッラーの使徒 ﷺ の逝去後、ビラールは悲しみのあまりマディーナで**アザーンを唱えることがつらくなり**、シャームへ移りました。マディーナでのかれの最後のアザーンについての話は、伝承経路に異論のあるものです。
>
> **参照：**
> イブン・ハジャル『アル＝イサーバ』、ビラール・ブン・ラバーフの伝記。

教訓：イスラームにおいて尊さを測るのは**敬虔さ（タクワー）**であり、肌の色や血筋ではありません。元奴隷の声が**ウンマの声**となったのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

マディーナ憲章

マディーナのすべての集団――ムハージルーン、アンサール、そしてユダヤ教徒の諸部族――の関係を整えるため、アッラーの使徒 ﷺ は**マディーナ憲章**（サヒーファ・アル＝マディーナ）として知られる文書を書かせられました。多くの歴史家は、これを歴史上最も早い**成文の憲法**の一つと見なしています。

主な条項	意味
信者たちは**一つのウンマ（共同体）**	信仰の絆が部族の絆に優先する。
各部族はその成員の血の代償（ディヤ）と身代金を負担する	共同の責任と公正。
ユダヤ教徒は自らの宗教を、ムスリムは自らの宗教を自由に守る	一つの国の中での信教の自由。
すべての当事者が攻撃からマディーナを守る	共同の防衛。
ヤスリブの谷は**聖域（ハラム）**	マディーナは神聖で安全な町。
争いはアッラーとムハンマド ﷺ	一つの指導と裁き。
クライシュ族とその援助者には保護を与えない	敵と結託する道を閉ざす。

典拠：ウィキペディア「Constitution of Medina」。

スィーラの注：マディーナ憲章の本文の位置づけ

マディーナ憲章の本文は、主に**イブン・イスハーク**（イブン・ヒシャームの伝承）と、『財貨の書（キターブ・アル＝アムワール）』の**アブー・ウバイド**を通して伝わっていますが、**完全な伝承経路はありません**。ムスリムと非ムスリムの歴史家の多くは、その文体と内容が当時にふさわしいことから、全体としてその真正性を認めています。本文はふつう約 **47 条**に分けられます。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

その内容の一部は、マディーナを聖域とし「**ムスリムの保護は一つである**」と記したアリーの文書（次の章）のように、**真正なハディースによって裏付けられています。**

参照：

ウィキペディア「Constitution of Medina」。https://en.wikipedia.org/wiki/Constitution_of_Medina

聖域としてのマディーナ

この新しい町についての重要な定めの一つは、その**神聖さ**でした。アリー・ブン・アビー・ターリブ رضى الله عنه は、アッラーの使徒 ﷺ から受けた一枚の文書を保管していました。

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 1870 番

حَدَّثَنَا مُحَمَّدُ بْنُ بَشَّارٍ، حَدَّثَنَا عَبْدُ الرَّحْمَنِ، حَدَّثَنَا سُفْيَانُ، عَنِ الأَعْمَشِ، عَنْ إِبْرَاهِيمَ التَّيْمِيِّ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ عَلِيٍّ - رضى الله عنه - قَالَ مَا عِنْدَنَا شَىْءٌ إِلاَّ كِتَابُ اللَّهِ، وَهَذِهِ الصَّحِيفَةُ عَنِ النَّبِيِّ صلى الله عليه وسلم الْمَدِينَةُ حَرَمٌ، مَا بَيْنَ عَائِرٍ إِلَى كَذَا، مَنْ أَحْدَثَ فِيهَا حَدَثًا، أَوْ آوَى مُحْدِثًا، فَعَلَيْهِ لَعْنَةُ اللَّهِ وَالْمَلاَئِكَةِ وَالنَّاسِ أَجْمَعِينَ، لاَ يُقْبَلُ مِنْهُ صَرْفٌ وَلاَ عَدْلٌ. وَقَالَ ذِمَّةُ الْمُسْلِمِينَ وَاحِدَةٌ، فَمَنْ أَخْفَرَ مُسْلِمًا فَعَلَيْهِ لَعْنَةُ اللَّهِ وَالْمَلاَئِكَةِ وَالنَّاسِ أَجْمَعِينَ، لاَ يُقْبَلُ مِنْهُ صَرْفٌ وَلاَ عَدْلٌ، وَمَنْ تَوَلَّى قَوْمًا بِغَيْرِ إِذْنِ مَوَالِيهِ، فَعَلَيْهِ لَعْنَةُ اللَّهِ وَالْمَلاَئِكَةِ وَالنَّاسِ أَجْمَعِينَ، لاَ يُقْبَلُ مِنْهُ صَرْفٌ وَلاَ عَدْلٌ.

訳：

アリー رضى الله عنه は言った。「**私たちのもとには、アッラーの啓典と、預言者 ﷺ からのこの文書のほかには（書かれたものは）何もない。『マディーナはアイル（山）からこれこれの所までが聖域である。そこで新しいこと（逸脱や犯罪）を起こした者、あるいはそれを起こした者をかくまった者には、アッラーと天使たちと全人類の呪いがある。その者からは義務の行いも任意の行いも受け入れられない。ムスリムの保護は一つであり、かれらの中で最も身分の低い者でもそれを与えることができる。ムスリムの保護を裏切った者には、アッラーと天使たちと全人類の呪いがある……』」**

伝承経路 イマーム・ブハーリーの伝承：ムハンマド・ブン・バッシャール ← アブドゥッラフマーン（・ブン・マフディー） ← スフヤーン ← アル＝アアマシュ ← イブラーヒーム・アッ＝タイミー ← その父（ヤズィード・ブン・シャリーク） ← アリー・ブン・アビー・ターリブ رضى الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』マディーナの美徳の書、マディーナの聖域の章、ハディース第 1870 番。ムスリムも伝えている（第 1370 番）。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠：https://sunnah.com/bukhari:1870

マディーナ憲章との共通点

アリーの文書（ブハーリー 1870）	マディーナ憲章（スィーラ書）
マディーナは聖域である	ヤスリブの谷は聖域である
ムスリムの保護は一つである	アッラーの保護は一つであり、最も身分の低い者でも保護を与えられる
犯罪者をかくまう者への呪い	犯罪者をかくまったり助けたりしてはならない

この共通点は、マディーナ憲章の原則が**真正なスンナに根ざしている**ことを示しています。アッラーの使徒 ﷺ はマディーナの祝福も祈られ、**イブラーヒームがマッカを聖域とし、自分はマディーナを聖域とする**と言われました（『サヒーフ・ブハーリー』2129）。

マディーナの祝福

かつて熱病で知られた町（第 7 巻）は、マッカに次ぐ**最も祝福された町**となりました。アッラーの使徒 ﷺ ご自身がその祝福を祈られたのです。

ハディース — 『サヒーフ・ブハーリー』第 1885 番

حَدَّثَنَا عَبْدُ اللَّهِ بْنُ مُحَمَّدٍ، حَدَّثَنَا وَهْبُ بْنُ جَرِيرٍ، حَدَّثَنَا أَبِي، سَمِعْتُ يُونُسَ، عَنِ ابْنِ شِهَابٍ، عَنْ أَنَسٍ ـ رضى الله عنه ـ عَنِ النَّبِيِّ صلى الله عليه وسلم قَالَ اللَّهُمَّ اجْعَلْ بِالْمَدِينَةِ ضِعْفَىْ مَا جَعَلْتَ بِمَكَّةَ مِنَ الْبَرَكَةِ. تَابَعَهُ عُثْمَانُ بْنُ عُمَرَ عَنْ يُونُسَ.

訳：

アナス رضى الله عنه は、預言者 ﷺ がこう祈られたと伝えている。「**アッラーよ、あなたがマッカに与えられた祝福の二倍を、マディーナに与えてください。**」

伝承経路 イマーム・ブハーリーの伝承：アブドゥッラー・ブン・ムハンマド ← ワフブ・ブン・ジャリール ← その父（ジャリール・ブン・ハーズィム） ← ユーヌス ← イブン・シハーブ ← アナス رضى الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』マディーナの美徳の書、ハディース第 1885 番。ムスリムも伝えている（第 1369 番）。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠：https://sunnah.com/bukhari:1885

使徒はまた、マディーナが終末まで**信仰の砦**であり続けると告げられました。

ハディース — 『サヒーフ・ブハーリー』第 1876 番

حَدَّثَنَا إِبْرَاهِيمُ بْنُ الْمُنْذِرِ، حَدَّثَنَا أَنَسُ بْنُ عِيَاضٍ، قَالَ حَدَّثَنِي عُبَيْدُ اللَّهِ، عَنْ خُبَيْبِ بْنِ عَبْدِ الرَّحْمَنِ، عَنْ حَفْصِ بْنِ عَاصِمٍ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ ـ رضى الله عنه ـ أَنَّ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ إِنَّ الإِيمَانَ لَيَأْرِزُ إِلَى الْمَدِينَةِ كَمَا تَأْرِزُ الْحَيَّةُ إِلَى جُحْرِهَا.

訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه は、アッラーの使徒 ﷺ がこう言われたと伝えている。「**本当に信仰は、蛇が自分の穴に戻るように、マディーナへと戻り集まるであろう。**」

伝承経路 イマーム・ブハーリーの伝承：イブラーヒーム・ブン・アル＝ムンズィル ← アナス・ブン・イヤード ← ウバイドゥッラー（・ブン・ウマル） ← フバイブ・ブン・アブドゥッラフマーン ← ハフス・ブン・アースィム ← アブー・フライラ رضى الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』マディーナの美徳の書、信仰はマディーナに戻るの章、ハディース第 1876 番。ムスリムも伝えている（第 147 番）。

等級： サヒーフ（真正）―『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠：https://sunnah.com/bukhari:1876

そしてマディーナは**天使たちに守られています**。

ハディース ―『サヒーフ・ブハーリー』第 1880 番

حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ، قَالَ حَدَّثَنِي مَالِكٌ، عَنْ نُعَيْمِ بْنِ عَبْدِ اللَّهِ الْمُجْمِرِ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ ـ رضى الله عنه ـ قَالَ قَالَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم. عَلَى أَنْقَابِ الْمَدِينَةِ مَلاَئِكَةٌ، لاَ يَدْخُلُهَا الطَّاعُونُ وَلاَ الدَّجَّالُ.

訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه は、アッラーの使徒 ﷺ がこう言われたと伝えている。「**マディーナの入り口には天使たちがいる。ペストもダッジャールもそこに入ることはできない。**」

伝承経路 イマーム・ブハーリーの伝承：イスマーイール（・ブン・アビー・ウワイス） ← マーリク ← ヌアイム・ブン・アブディッラー・アル＝ムジュミル ← アブー・フライラ رضى الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』マディーナの美徳の書、ダッジャールはマディーナに入らないの章、ハディース第 1880 番。ムスリムも伝えている（第 1379 番）。

等級： サヒーフ（真正）―『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠：https://sunnah.com/bukhari:1880

マディーナの特別な徳	典拠
マッカと同じく聖域である	ブハーリー 1870、2129
マッカの祝福の二倍	ブハーリー 1885
信仰がマディーナに戻り集まる	ブハーリー 1876
ペストもダッジャールも入らない	ブハーリー 1880
マッカのように、あるいはそれ以上に愛される	ブハーリー 3926（第 7 巻）

教訓：場所が尊くなるのは、**住む人々の信仰**と**アッラーの使徒** ﷺ の祈りによってです。かつて分裂し病に苦しんだヤスリブは、**アル＝マディーナ・アル＝ムナウワラ**――光り輝く町――となりました。

ユダヤ教徒の隣人とアーシューラーの斎戒

マディーナのユダヤ教徒は、預言者たちの物語を知る**啓典の民**でした。**アブドゥッラー・ブン・サラーム**（第7巻）のようにイスラームに入った者もいれば、多くは自らの宗教にとどまりました。アッラーの使徒 ﷺ はかれらと公正に付き合われました。隣人として暮らし、カイヌカーウ族の市場で取引し（ブハーリー 3780）、盟約で結ばれていたのです。

アーシューラーの斎戒

イブン・アッバース رضى الله عنهما は、アッラーの使徒 ﷺ がマディーナに着いてすぐに目にされたことを伝えています。

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 2004 番

حَدَّثَنَا أَبُو مَعْمَرٍ، حَدَّثَنَا عَبْدُ الْوَارِثِ، حَدَّثَنَا أَيُّوبُ، حَدَّثَنَا عَبْدُ اللَّهِ بْنُ سَعِيدِ بْنِ جُبَيْرٍ، عَنْ أَبِيهِ، عَنِ ابْنِ عَبَّاسٍ ـ رضى الله عنهما ـ قَالَ قَدِمَ النَّبِيُّ صلى الله عليه وسلم الْمَدِينَةَ، فَرَأَى الْيَهُودَ تَصُومُ يَوْمَ عَاشُورَاءَ، فَقَالَ مَا هَذَا. قَالُوا هَذَا يَوْمٌ صَالِحٌ، هَذَا يَوْمٌ نَجَّى اللَّهُ بَنِي إِسْرَائِيلَ مِنْ عَدُوِّهِمْ، فَصَامَهُ مُوسَى. قَالَ فَأَنَا أَحَقُّ بِمُوسَى مِنْكُمْ. فَصَامَهُ وَأَمَرَ بِصِيَامِهِ.

訳：

イブン・アッバース رضى الله عنهما は言った。**預言者 ﷺ はマディーナに来られ、ユダヤ教徒がアーシューラーの日に斎戒しているのを見られた。使徒は「これは何か」と尋ねられた。かれらは答えた。「これは良い日です。アッラーがイスラエルの子孫を敵から救われた日で、ムーサーはこの日に斎戒しました。」使徒は言われた。「私はあなたがたよりもムーサーに近い。」そして使徒はその日に斎戒され、（ムスリムたちにも）斎戒するよう命じられた。**

伝承経路 イマーム・ブハーリーの伝承：アブー・マアマル ← アブドゥルワーリス ← アイユーブ ← アブドゥッラー・ブン・サイード・ブン・ジュバイル ← その父（サイード・ブン・ジュバイル） ← イブン・アッバース رضى الله عنهما。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』斎戒の書、アーシューラーの日の斎戒の章、ハディース第 2004 番。ムスリムも伝えている（第 1130 番）。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠：https://sunnah.com/bukhari:2004

教訓：ムスリムは**預言者たちの継承者**であり、そこにはムーサー عَلَيْهِ السَّلَامُ も含まれます。イスラームは啓典の民の中にある善を認めつつ、**自らの独自性**を保ちます。

アブドゥッラー・ブン・ウバイと偽信の芽

マディーナのすべての住民が、アッラーの使徒 ﷺ の到来を喜んだわけではありません。**アブドゥッラー・ブン・ウバイ・ブン・サルール**はハズラジ族の有力者で、ヒジュラの前にはマディーナの王に戴かれる寸前でした。使徒の到来がその野望を打ち砕いたのです。ウサーマ・ブン・ザイド رضى الله عنهما がある出来事を伝えています。

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 4566 番

حَدَّثَنَا أَبُو الْيَمَانِ، أَخْبَرَنَا شُعَيْبٌ، عَنِ الزُّهْرِيِّ، قَالَ أَخْبَرَنِي عُرْوَةُ بْنُ الزُّبَيْرِ، أَنَّ أُسَامَةَ بْنَ زَيْدٍ ـ رضى الله عنهما ـ أَخْبَرَهُ أَنَّ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم رَكِبَ عَلَى حِمَارٍ عَلَى قَطِيفَةٍ فَدَكِيَّةٍ، وَأَرْدَفَ أُسَامَةَ بْنَ زَيْدٍ وَرَاءَهُ، يَعُودُ سَعْدَ بْنَ عُبَادَةَ فِي بَنِي الْحَارِثِ بْنِ الْخَزْرَجِ قَبْلَ وَقْعَةِ بَدْرٍ ـ قَالَ ـ حَتَّى مَرَّ بِمَجْلِسٍ فِيهِ عَبْدُ اللَّهِ بْنُ أُبَيٍّ، ابْنُ سَلُولَ، وَذَلِكَ قَبْلَ أَنْ يُسْلِمَ عَبْدُ اللَّهِ بْنُ أُبَيٍّ فَإِذَا فِي الْمَجْلِسِ أَخْلاَطٌ مِنَ الْمُسْلِمِينَ وَالْمُشْرِكِينَ عَبَدَةِ الأَوْثَانِ وَالْيَهُودِ وَالْمُسْلِمِينَ، وَفِي الْمَجْلِسِ عَبْدُ اللَّهِ بْنُ رَوَاحَةَ، فَلَمَّا غَشِيَتِ الْمَجْلِسَ عَجَاجَةُ الدَّابَّةِ خَمَّرَ عَبْدُ اللَّهِ بْنُ أُبَيٍّ أَنْفَهُ بِرِدَائِهِ، ثُمَّ قَالَ لاَ تُغَبِّرُوا عَلَيْنَا. فَسَلَّمَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم عَلَيْهِمْ ثُمَّ وَقَفَ فَنَزَلَ فَدَعَاهُمْ إِلَى اللَّهِ، وَقَرَأَ عَلَيْهِمُ الْقُرْآنَ، فَقَالَ عَبْدُ اللَّهِ بْنُ أُبَيٍّ ابْنُ سَلُولَ أَيُّهَا الْمَرْءُ، إِنَّهُ لاَ أَحْسَنَ مِمَّا تَقُولُ، إِنْ كَانَ حَقًّا، فَلاَ تُؤْذِينَا بِهِ فِي مَجْلِسِنَا، ارْجِعْ إِلَى رَحْلِكَ، فَمَنْ جَاءَكَ فَاقْصُصْ عَلَيْهِ. فَقَالَ عَبْدُ اللَّهِ بْنُ رَوَاحَةَ بَلَى يَا رَسُولَ اللَّهِ، فَاغْشَنَا بِهِ فِي مَجَالِسِنَا، فَإِنَّا نُحِبُّ ذَلِكَ. فَاسْتَبَّ الْمُسْلِمُونَ وَالْمُشْرِكُونَ وَالْيَهُودُ حَتَّى كَادُوا يَتَثَاوَرُونَ، فَلَمْ يَزَلِ النَّبِيُّ صلى الله عليه وسلم يُخَفِّضُهُمْ حَتَّى سَكَنُوا، ثُمَّ رَكِبَ النَّبِيُّ صلى الله عليه وسلم دَابَّتَهُ فَسَارَ حَتَّى دَخَلَ عَلَى سَعْدِ بْنِ عُبَادَةَ، فَقَالَ لَهُ النَّبِيُّ صلى الله عليه وسلم يَا سَعْدُ أَلَمْ تَسْمَعْ مَا قَالَ أَبُو حُبَابٍ. يُرِيدُ عَبْدَ اللَّهِ بْنَ أُبَيٍّ قَالَ كَذَا وَكَذَا. قَالَ سَعْدُ بْنُ عُبَادَةَ يَا رَسُولَ اللَّهِ، اعْفُ عَنْهُ وَاصْفَحْ عَنْهُ، فَوَالَّذِي أَنْزَلَ عَلَيْكَ الْكِتَابَ، لَقَدْ جَاءَ اللَّهُ بِالْحَقِّ الَّذِي أَنْزَلَ عَلَيْكَ، لَقَدِ اصْطَلَحَ أَهْلُ هَذِهِ الْبُحَيْرَةِ عَلَى أَنْ يُتَوِّجُوهُ فَيُعَصِّبُونَهُ بِالْعِصَابَةِ، فَلَمَّا أَبَى اللَّهُ ذَلِكَ بِالْحَقِّ الَّذِي أَعْطَاكَ اللَّهُ شَرِقَ بِذَلِكَ، فَذَلِكَ فَعَلَ

بِهِ مَا رَأَيْتَ. فَعَفَا عَنْهُ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم وَكَانَ النَّبِيُّ صلى الله عليه وسلم وَأَصْحَابُهُ يَعْفُونَ عَنِ الْمُشْرِكِينَ وَأَهْلِ الْكِتَابِ كَمَا أَمَرَهُمُ اللَّهُ، وَيَصْبِرُونَ عَلَى الأَذَى قَالَ اللَّهُ عَزَّ وَجَلَّ {وَلَتَسْمَعُنَّ مِنَ الَّذِينَ أُوتُوا الْكِتَابَ مِنْ قَبْلِكُمْ وَمِنَ الَّذِينَ أَشْرَكُوا أَذًى كَثِيرًا } الآيَةَ، وَقَالَ اللَّهُ {وَدَّ كَثِيرٌ مِنْ أَهْلِ الْكِتَابِ لَوْ يَرُدُّونَكُمْ مِنْ بَعْدِ إِيمَانِكُمْ كُفَّارًا حَسَدًا مِنْ عِنْدِ أَنْفُسِهِمْ} إِلَى آخِرِ الآيَةِ، وَكَانَ النَّبِيُّ صلى الله عليه وسلم يَتَأَوَّلُ الْعَفْوَ مَا أَمَرَهُ اللَّهُ بِهِ، حَتَّى أَذِنَ اللَّهُ فِيهِمْ، فَلَمَّا غَزَا رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم بَدْرًا، فَقَتَلَ اللَّهُ بِهِ صَنَادِيدَ كُفَّارِ قُرَيْشٍ قَالَ ابْنُ أُبَيٍّ ابْنُ سَلُولَ، وَمَنْ مَعَهُ مِنَ الْمُشْرِكِينَ، وَعَبَدَةِ الأَوْثَانِ هَذَا أَمْرٌ قَدْ تَوَجَّهَ. فَبَايَعُوا الرَّسُولَ صلى الله عليه وسلم عَلَى الإِسْلاَمِ فَأَسْلَمُوا.

訳：

ウサーマ・ブン・ザイド رضى الله عنهما は伝えている。**アッラーの使徒 ﷺ は、バドルの戦いの前、サアド・ブン・ウバーダを見舞うため、ロバに乗りウサーマを後ろに乗せて出かけられた。使徒は、アブドゥッラー・ブン・ウバイ・ブン・サルールがいる集まりのそばを通られた。それはかれが（表向き）イスラームに入る前のことであった。その集まりには、ムスリム、偶像を崇める多神教徒、そしてユダヤ教徒が混じっていた。**ロバの土ぼこりがその集まりに届くと、アブドゥッラー・ブン・ウバイは鼻を覆って「私たちに土ぼこりをかけるな」と言った。アッラーの使徒 ﷺ は挨拶をし、立ち止まって降り、かれらをアッラーへと招き、クルアーンを読み聞かせられた。アブドゥッラー・ブン・ウバイは言った。「おい、あなたの言うことが本当なら、それにまさるものはない。だが私たちの集まりでそれで私たちを煩わせないでくれ。」アブドゥッラー・ブン・ラワーハは言った。「いいえ、アッラーの使徒よ、それを私たちの集まりに持って来てください。私たちはそれを好むのですから。」そこで人々は罵り合い、つかみ合いになりかけたが、**預言者 ﷺ はかれらをなだめ続けられ**、ついに静まった。使徒はサアド・ブン・ウバーダのもとへ行き、そのことを話された。サアドは言った。「**アッラーの使徒よ、かれを許し、大目に見てください。アッラーにかけて、この町の人々がかれに冠を戴かせ（王にし）ようと一致していた時に、アッラーはあなたに真理をもたらされました。アッラーがあなたに与えられた真理によってそれを退けられたので、かれは悔しがっているのです。それがかれの振る舞いの理由です。**」そこでアッラーの使徒

ﷺはかれを許された。（このハディースは続けて、使徒と教友たちが多神教徒と啓典の民を許し、かれらの嫌がらせに耐えていたことを説明している。）

伝承経路 イマーム・ブハーリーの伝承：アブー・アル＝ヤマーン ← シュアイブ ← アッ＝ズフリー ← ウルワ・ブン・アッ＝ズバイル ← ウサーマ・ブン・ザイド رضى الله عنهما。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』クルアーン解釈の書、イムラーン家章、ハディース第 4566 番。ムスリムも伝えている（第 1798 番）。訳文は要約している。

等級： サヒーフ（真正）―『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠：https://sunnah.com/bukhari:4566

偽信の芽

バドルの勝利（第 9 巻）の後、アブドゥッラー・ブン・ウバイとその追随者たちは**表向きイスラームを示し**ましたが、その心は変わりませんでした。これが**偽信者（ムナーフィクーン）**の始まりです。かれらはクルアーンでたびたび語られる、内に潜む敵でした。ウサーマのハディースは、かれらの態度が証拠の不足からではなく、**ねたみと権力への執着**から生じたことを示しています。

教訓：アッラーの使徒 ﷺ は**忍耐し、許され**、争いをなだめ、侮辱に暴力で報いることはされませんでした。指導者には**長い忍耐**が求められるのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

ムハージルーン最初の赤子

マディーナでの最初の年には喜びもありました。臨月の身でヒジュラしたアスマー・ビント・アビー・バクル رضى الله عنها が、クバーで男の子を産んだのです。

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 3909 番

حَدَّثَنِي زَكَرِيَّاءُ بْنُ يَحْيَى، عَنْ أَبِي أُسَامَةَ، عَنْ هِشَامِ بْنِ عُرْوَةَ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ أَسْمَاءَ ـ رضى الله عنها ـ أَنَّهَا حَمَلَتْ بِعَبْدِ اللَّهِ بْنِ الزُّبَيْرِ، قَالَتْ فَخَرَجْتُ وَأَنَا مُتِمٌّ، فَأَتَيْتُ الْمَدِينَةَ، فَنَزَلْتُ بِقُبَاءٍ، فَوَلَدْتُهُ بِقُبَاءٍ، ثُمَّ أَتَيْتُ بِهِ النَّبِيَّ صلى الله عليه وسلم فَوَضَعْتُهُ فِي حَجْرِهِ، ثُمَّ دَعَا بِتَمْرَةٍ، فَمَضَغَهَا، ثُمَّ تَفَلَ فِي فِيهِ، فَكَانَ أَوَّلَ شَىْءٍ دَخَلَ جَوْفَهُ رِيقُ رَسُولِ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم، ثُمَّ حَنَّكَهُ بِتَمْرَةٍ ثُمَّ دَعَا لَهُ وَبَرَّكَ عَلَيْهِ، وَكَانَ أَوَّلَ مَوْلُودٍ وُلِدَ فِي الإِسْلاَمِ. تَابَعَهُ خَالِدُ بْنُ مَخْلَدٍ عَنْ عَلِيِّ بْنِ مُسْهِرٍ عَنْ هِشَامٍ عَنْ أَبِيهِ عَنْ أَسْمَاءَ ـ رضى الله عنها ـ أَنَّهَا هَاجَرَتْ إِلَى النَّبِيِّ صلى الله عليه وسلم وَهْىَ حُبْلَى.

訳：

アスマー رضى الله عنها は、マッカでアブドゥッラー・ブン・アッ＝ズバイルを身ごもったと言った。「**私は臨月の身で（ヒジュラに）出発し、マディーナに着いてクバーに滞在し、クバーでかれを産みました。それからかれをアッラーの使徒 ﷺ のもとへ連れて行き、そのひざに置きました。使徒はナツメヤシの実を一つ求めてかみ、それを赤子の口に入れられました。こうしてかれのお腹に最初に入ったのは、アッラーの使徒 ﷺ のつばでした。それから使徒はナツメヤシでかれにタフニーク（口ほどき）をし、かれのために祝福を祈られました。かれはイスラームの中で（マディーナのムハージルーンの間で）最初に生まれた赤子でした。**」ブハーリーはまた、アスマーが身ごもった状態で預言者 ﷺ のもとへ移住したことを裏付ける伝承も挙げています。

伝承経路 イマーム・ブハーリーの伝承：ザカリーヤー・ブン・ヤヒヤー ← アブー・ウサーマ ← ヒシャーム・ブン・ウルワ ← その父（ウルワ） ← アスマー رضى الله عنها。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』援助者たちの美徳の書、ハディース第 3909 番。ムスリムも伝えている（第 2146 番）。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠：https://sunnah.com/bukhari:3909

その赤子**アブドゥッラー・ブン・アッ＝ズバイル**は、マディーナのムハージルーンの間で最初に生まれた子でした。アッラーの使徒 ﷺ はかれに**タフニーク**――ナツメヤシの実をかんで赤子の上あごにつけること――をし、かれのために祝福を祈られました。この**タフニーク**のスンナは、今日までムスリムに受け継がれています。

誕生のスンナ	典拠
ナツメヤシでのタフニーク	ブハーリー 3909
赤子のために祝福を祈る	ブハーリー 3909
赤子を善良な人のもとへ連れて行く	ブハーリー 3909

キブラがカアバへ

マディーナでの **16 か月または 17 か月**の間、ムスリムは**エルサレム（バイト・アル＝マクディス）**に向かって礼拝していました。アッラーの使徒 ﷺ は、キブラが父祖イブラーヒーム عَلَيْهِ السَّلَامُ のキブラであるカアバへ移されることを強く望み、しばしば天を仰いで啓示を待たれました。アッラーは仰せられます。

雌牛章 2:144

قَدْ نَرَىٰ تَقَلُّبَ وَجْهِكَ فِي ٱلسَّمَآءِ ۖ فَلَنُوَلِّيَنَّكَ قِبْلَةً تَرْضَىٰهَا ۚ فَوَلِّ وَجْهَكَ
شَطْرَ ٱلْمَسْجِدِ ٱلْحَرَامِ ۚ وَحَيْثُ مَا كُنتُمْ فَوَلُّوا۟ وُجُوهَكُمْ شَطْرَهُۥ ۗ وَإِنَّ ٱلَّذِينَ
أُوتُوا۟ ٱلْكِتَٰبَ لَيَعْلَمُونَ أَنَّهُ ٱلْحَقُّ مِن رَّبِّهِمْ ۗ وَمَا ٱللَّهُ بِغَٰفِلٍ عَمَّا يَعْمَلُونَ ﴿١٤٤﴾

われはあなたが（導きを求め）、天に顔を巡らすのを見る。そこでわれは、あなたの納得するキブラに、あなたを向かわせる。あなたの顔を聖なるマスジドの方向に向けなさい。あなたがたは何処にいても、あなたがたの顔をキブラに向けなさい。本当に啓典の民は、それが主からの真理であることを知っている。アッラーは、かれらの行うことに無頓着な方ではない。

訳：三田了一 — quran.com/2:144

ハディース — 『サヒーフ・ブハーリー』第 4486 番

حَدَّثَنَا أَبُو نُعَيْمٍ، سَمِعَ زُهَيْرًا، عَنْ أَبِي إِسْحَاقَ، عَنِ الْبَرَاءِ، رضى الله عنه أَنَّ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم صَلَّى إِلَى بَيْتِ الْمَقْدِسِ سِتَّةَ عَشَرَ شَهْرًا أَوْ سَبْعَةَ عَشَرَ شَهْرًا، وَكَانَ يُعْجِبُهُ أَنْ تَكُونَ قِبْلَتُهُ قِبَلَ الْبَيْتِ، وَأَنَّهُ صَلَّى ـ أَوْ صَلاَّهَا ـ صَلاَةَ الْعَصْرِ، وَصَلَّى مَعَهُ قَوْمٌ، فَخَرَجَ رَجُلٌ مِمَّنْ كَانَ صَلَّى مَعَهُ، فَمَرَّ عَلَى أَهْلِ الْمَسْجِدِ وَهُمْ رَاكِعُونَ قَالَ أَشْهَدُ بِاللَّهِ لَقَدْ صَلَّيْتُ مَعَ النَّبِيِّ صلى الله عليه وسلم قِبَلَ مَكَّةَ، فَدَارُوا كَمَا هُمْ قِبَلَ الْبَيْتِ، وَكَانَ الَّذِي مَاتَ عَلَى الْقِبْلَةِ قَبْلَ أَنْ تُحَوَّلَ قِبَلَ الْبَيْتِ رِجَالٌ قُتِلُوا لَمْ نَدْرِ مَا نَقُولُ فِيهِمْ، فَأَنْزَلَ اللَّهُ {وَمَا كَانَ اللَّهُ لِيُضِيعَ إِيمَانَكُمْ إِنَّ اللَّهَ بِالنَّاسِ لَرَءُوفٌ رَحِيمٌ}

訳：

アル＝バラー رضى الله عنه は伝えている。**アッラーの使徒 ﷺ は 16 か月または 17 か月の間エルサレムに向かって礼拝され、キブラがカアバであることを好まれていた。使徒は礼拝――アスルの礼拝――を（カアバに向かって）行われ、何人かの人々が使徒と共に礼拝した。使徒と共に礼拝した一人の男が出て行き、あるモスクでルクー（お辞儀）をしている人々のそばを通った。かれは言った。「アッラーにかけて証言する。私は預言者 ﷺ と共にマッカの方に向かって礼拝した。」すると人々は（ルクーの姿勢のまま）カアバの方へ向きを変えた。**キブラが変わる前に亡くなった人々がいて、私たちはかれらについて何と言えばよいのか分からなかった。そこでアッラーは下された。｛アッラーは，あなたがたの信仰を決して虚しくなされない.....｝（雌牛章 2:143）。

伝承経路 イマーム・ブハーリーの伝承：アブー・ヌアイム ← ズハイル ← アブー・イスハーク ← アル＝バラー・ブン・アーズィブ رضى الله عنه。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』クルアーン解釈の書、雌牛章、ハディース第 4486 番。第 40 番も参照。

等級： サヒーフ（真正）―『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠：https://sunnah.com/bukhari:4486

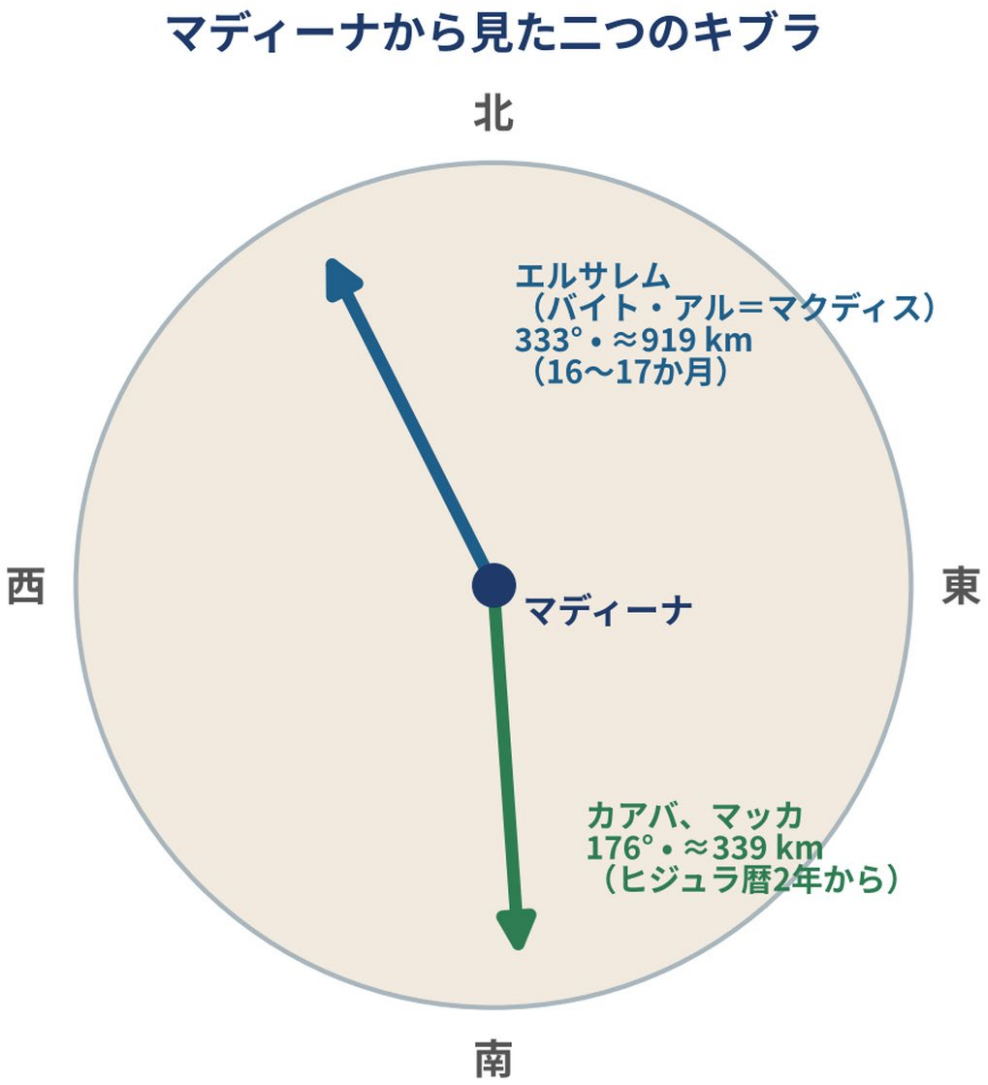


図 3：マディーナから見た二つのキブラの方向。

上の図は、その変化がいかに大きかったかを示しています。マディーナから見ると、エルサレムは**北北西**にあり、マッカは**南**にあります。礼拝する人々は**ほぼ真後ろに向きを変える**必要がありました。ウィキペディアは、この出来事が**ヒジュラ暦 2 年のラジャブ月またはシャアバーン月**（西暦 623 年）に起きたとしています（ウィキペディア「Qibla」）。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

礼拝中に向きを変える

キブラ変更の知らせはすぐに広まりました。イブン・ウマル رضى الله عنهما は、翌朝クバーで起きたことを伝えています。

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 403 番

حَدَّثَنَا عَبْدُ اللَّهِ بْنُ يُوسُفَ، قَالَ أَخْبَرَنَا مَالِكُ بْنُ أَنَسٍ، عَنْ عَبْدِ اللَّهِ بْنِ دِينَارٍ، عَنْ عَبْدِ اللَّهِ بْنِ عُمَرَ، قَالَ بَيْنَا النَّاسُ بِقُبَاءٍ فِي صَلاَةِ الصُّبْحِ إِذْ جَاءَهُمْ آتٍ فَقَالَ إِنَّ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَدْ أُنْزِلَ عَلَيْهِ اللَّيْلَةَ قُرْآنٌ، وَقَدْ أُمِرَ أَنْ يَسْتَقْبِلَ الْكَعْبَةَ فَاسْتَقْبِلُوهَا، وَكَانَتْ وُجُوهُهُمْ إِلَى الشَّأْمِ، فَاسْتَدَارُوا إِلَى الْكَعْبَةِ.

訳：

アブドゥッラー・ブン・ウマル رضى الله عنهما は言った。**人々がクバーで夜明けの礼拝をしていた時、ある人がかれらのもとに来て言った。「昨夜、アッラーの使徒 ﷺ にクルアーンが下され、使徒はカアバに向くよう命じられました。だからそちらに向きなさい。」その時かれらの顔はシャームの方を向いていたが、かれらはカアバの方へ向きを変えた。**

伝承経路 イマーム・ブハーリーの伝承：アブドゥッラー・ブン・ユースフ ← マーリク・ブン・アナス ← アブドゥッラー・ブン・ディーナール ← アブドゥッラー・ブン・ウマル رضى الله عنهما。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』礼拝の書、キブラの章、ハディース第 403 番。ムスリムも伝えている（第 526 番）。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠：https://sunnah.com/bukhari:403

ためらいのない服従

教友たちは「まず礼拝を終えてから、この知らせを確かめよう」とは言いませんでした。かれらは信頼できる知らせの運び手を信じて、**礼拝の途中ですぐに向きを変**

えたのです。学者たちはこのハディースから、**信頼できる一人の者の知らせ**（ハバル・アーハード）が宗教上の事柄で受け入れられることを導き出しています。

アッラーはキブラ変更の英知を明らかにされました。「**このようにわれは，あなたがたを中正の共同体〔ウンマ〕とする**」。同じ節は、キブラの変更が、本当に使徒に従う者を見分けるための試練であったと述べています『タフスィール・イブン・カスィール』2:143。

スィーラの注：二つのキブラのモスク

スィーラ書によれば、キブラの変更は、アッラーの使徒 ﷺ が**サリマ族**のモスクでズフルの礼拝をしておられた時に起こり、使徒は礼拝の途中で向きを変えられました。そのモスクは今日**マスジド・アル＝キブラタイン**（二つのキブラのモスク）として知られています。

一方、真正なハディース（ブハーリー 4486）は、カアバに向かった最初の礼拝を**アスル**の礼拝とし、**別のモスク**にいた人々がルクーの最中に向きを変えたと述べています。学者たちはこれを合わせて、知らせが異なる人々に異なる時に届いたと説明します。サリマ族にはアスルの時に、クバーの人々には翌日の夜明けの礼拝の時に届いたのです（ブハーリー 403）。

参照：

イブン・ハジャル『ファトフ・アル＝バーリー』、ハディース第 40 番および第 403 番の注釈。

ラマダーンの斎戒とザカート・アル＝フィトル

スィーラ書によれば、**ヒジュラ暦2年のシャアバーン月**に、アッラーは**ラマダーンの斎戒**を義務とされました。

アッラーは仰せられます。「**信仰する者よ，あなたがた以前の者に定められたようにあなたがたに斎戒が定められた。恐らくあなたがたは主を畏れるであろう**」『タフスィール・イブン・カスィール』2:183。

同じ年には、斎戒した者を清め、祭日に貧しい人々に食べ物を与えるため、**ザカート・アル＝フィトル**も義務とされました。

ハディース ― 『サヒーフ・ブハーリー』第 1503 番

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ مُحَمَّدِ بْنِ السَّكَنِ، حَدَّثَنَا مُحَمَّدُ بْنُ جَهْضَمٍ، حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ بْنُ جَعْفَرٍ، عَنْ عُمَرَ بْنِ نَافِعٍ، عَنْ أَبِيهِ، عَنِ ابْنِ عُمَرَ ـ رضى الله عنهما ـ قَالَ فَرَضَ رَسُولُ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم زَكَاةَ الْفِطْرِ صَاعًا مِنْ تَمْرٍ، أَوْ صَاعًا مِنْ شَعِيرٍ عَلَى الْعَبْدِ وَالْحُرِّ، وَالذَّكَرِ وَالأُنْثَى، وَالصَّغِيرِ وَالْكَبِيرِ مِنَ الْمُسْلِمِينَ، وَأَمَرَ بِهَا أَنْ تُؤَدَّى قَبْلَ خُرُوجِ النَّاسِ إِلَى الصَّلاَةِ.

訳：

イブン・ウマル رضى الله عنهما は言った。**アッラーの使徒 ﷺ は、ムスリムの奴隷と自由人、男と女、子どもと大人の一人ひとりに、ナツメヤシ 1 サーウまたは大麦 1 サーウのザカート・アル＝フィトルを義務とされ、人々が（祭日の）礼拝に出かける前にそれを納めるよう命じられた。**

伝承経路 イマーム・ブハーリーの伝承：ヤヒヤー・ブン・ムハンマド・ブン・アッ＝サカン ← ムハンマド・ブン・ジャフダム ← イスマーイール・ブン・ジャアファル ← ウマル・ブン・ナーフィウ ← その父（ナーフィウ） ← イブン・ウマル رضى الله عنهما。

出典： イマーム・ブハーリー『サヒーフ・ブハーリー』ザカートの書、ザカート・アル＝フィトルの義務の章、ハディース第 1503 番。ムスリムも伝えている（第 984 番）。

等級： サヒーフ（真正）— 『サヒーフ・ブハーリー』に収録。ハディース学者の総意により、クルアーンに次いで最も真正な書である。

典拠：https://sunnah.com/bukhari:1503

崇拝行為	定められた時期（目安）
一日五回の礼拝	ミウラージュの夜、ヒジュラの前（第 6 巻）
アザーン	ヒジュラ暦 1 年（ブハーリー 604）
マディーナでの金曜礼拝	ヒジュラの時（第 7 巻）
カアバへのキブラ	ヒジュラ暦 2 年ラジャブ月／シャアバーン月
ラマダーンの斎戒	ヒジュラ暦 2 年シャアバーン月
ザカート・アル＝フィトル	ヒジュラ暦 2 年、最初の祭日の前

教訓：イスラームの崇拝行為は、社会の建設と歩みを合わせて**段階的に定められました**。そしてイスラーム史上最初のラマダーンの後には**バドルの戦い**が続きます――第 9 巻の物語です。

話とその評価

本書の出来事の多くは**真正**で、『サヒーフ・ブハーリー』に収められています。一方、いくつかの細部はスィーラ書や歴史書にのみ見られます。

マディーナ初期の物語の位置づけ

真正（10）

- 預言者のモスクの建設
- アナスの家での兄弟の契り
- アブドゥッラフマーンとサアド・ブン・アッ＝ラビーウ
- 兄弟を優先したアンサールの客もてなし（59:9）
- ウマルの提案；ビラールが礼拝へ呼びかける
- アブドゥッラー・ブン・アッ＝ズバイルの誕生
- アリーの文書：聖域としてのマディーナ
- マディーナの祝福；天使たちによる守り
- キブラの変更；クバーの人々が向きを変える
- アブドゥッラー・ブン・ウバイと混じり合った集まり

ハサン・サヒーフ（1）

- アブドゥッラー・ブン・ザイドのアザーンの夢

スィーラ書／歴史書（3）

- マディーナ憲章の全文（伝承経路なし）
- 兄弟として結ばれた九十人
- 礼拝の途中、マスジド・アル＝キブラタインでのキブラ変更

評価はハディース集と学者たちの評価に基づく（関連する章を参照）。

図 4：マディーナ初期の物語の位置づけ。

物語	位置づけと典拠
預言者のモスクの建設；アフル・アッ＝スッファ	真正 — ブハーリー 3932、6452
アナスの家での兄弟の契り	真正 — ブハーリー 2294
アブドゥッラフマーンとサアド；サルマーンとアブー・アッ＝ダルダー	真正 — ブハーリー 3780、1968
兄弟の相続の廃止	真正 — ブハーリー 2292
アンサールの客もてなし（59:9）；ナツメヤシ園	真正 — ブハーリー 3798、2325
アザーンの提案；ビラールへの呼びかけの命令	真正 — ブハーリー 604
アブドゥッラー・ブン・ザイドの夢	ハサン・サヒーフ — アブー・ダーウード 499
聖域としてのマディーナ	真正 — ブハーリー 1870、2129
マディーナの祝福；天使たちによる守り	真正 — ブハーリー 1885、1876、1880
アーシューラーの斎戒	真正 — ブハーリー 2004
アブドゥッラー・ブン・ウバイ	真正 — ブハーリー 4566
アブドゥッラー・ブン・アッ＝ズバイルの誕生	真正 — ブハーリー 3909
キブラの変更；クバーの人々が向きを変える	真正 — ブハーリー 4486、403
ザカート・アル＝フィトル	真正 — ブハーリー 1503
マディーナ憲章の全文	スィーラ書（イブン・イスハーク、アブー・ウバイド）、完全な伝承経路なし；歴史家に広く認められている
兄弟として結ばれた九十人；ほかの組み合わせの名前	スィーラ書（イブン・サアド、イブン・ヒシャーム）
ズフルの礼拝の途中、マスジド・アル＝キブラタインでのキブラ変更	スィーラ書

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

社会の四つの基本的な教え

マディーナの人々がアッラーの使徒 ﷺ から最初に聞いた言葉は何だったのでしょうか。使徒の到着後すぐにイスラームに入ったユダヤ教の学者アブドゥッラー・ブン・サラーム رضى الله عنه（第 7 巻）が、その時のことを語っています。この短い教えが、本書で語られる社会建設全体の土台となりました。

ハディース：マディーナでの最初の言葉

アブドゥッラー・ブン・サラーム رضى الله عنه は言った。「アッラーの使徒 ﷺ がマディーナに着かれると、人々は急いで使徒のもとへ向かった……。私も人々と一緒に使徒を見に行った。その顔をはっきりと見た時、私はそれがうそつきの顔ではないと分かった。私が使徒から最初に聞いた言葉はこうであった。『人々よ、平安の挨拶（サラーム）を広め、食べ物を与え、血縁の絆を結び、人々が眠っている夜に礼拝しなさい。そうすれば、あなたがたは平安のうちに楽園に入るであろう。』」

評価：真正――ティルミズィーはハサン・サヒーフと述べ、アルバーニーも真正とした――『ジャーミウ・アッ＝ティルミズィー』2485；また『スナン・イブン・マージャ』1334。

教え	社会への効果
サラームを広める	敵意と疑いを取り除き、見知らぬ人が知り合いになる。
食べ物を与える	誰も飢えないようにする――ムハージルーンが手ぶらで着いた時には特に大切だった。
血縁の絆を結ぶ	家族を強め、安定した社会の土台となる。
夜の礼拝	アッラーとの個人的な結びつきを築く；昼の働きを支える霊的な力。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

すべての人にサラームを

同じ教えはほかのハディースでも繰り返されています。ある男が「どのイスラームが最も優れていますか」と尋ねると、使徒は答えられました。「食べ物を与え、知っている人にも知らない人にもサラームを言うことである」（『サヒーフ・ブハーリー』12）。また使徒は言われました。「あなたがたは信仰しなければ楽園に入れず、互いに愛し合わなければ信仰したことにならない。それを行えば互いに愛し合えるようになるものを教えようか。あなたがたの間でサラームを広めなさい」（『サヒーフ・ムスリム』54）。

その順序に注目してください。信仰は愛へと導き、愛は毎日くり返される小さな行いによって築かれます。ムハージルーンとアンサールの兄弟の契り（第 3〜8 章）はこの教えの大きな実践であり、サラームと食べ物はその日々の実践なのです。

教訓

アッラーの使徒 ﷺ は、法律や軍隊からではなく、人格――サラーム、食べ物、血縁の絆、夜の礼拝――から社会の建設を始められました。強い社会は、清い心と与える手から始まります。この教えは、今日の私たちの近所や社会にとっても薬であり続けています。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

戦いの許可

マッカでの十三年間、ムスリムは拷問され、ボイコットされ、追放されても、忍耐し、報復しないよう命じられていました。マディーナで、かれらは初めて自分たちの郷土を持ちました。その時、アッラーは自衛のための許可を下されたのです。

「戦いをし向ける者に対し（戦闘を）許される。それはかれらが悪を行うためである。アッラーは，かれら（信者）を力強く援助なされる。（かれらは）只『わたしたちの主はアッラーです。』と言っただけで正当な理由もなく，その家から追われた者たちである」（巡礼章 22:39–40）。

イブン・カスィールは、イブン・アッバース رضى الله عنهما と多くの初期の学者から、これが戦いについて下された最初の節であると伝えています（『タフスィール・イブン・カスィール』22:39）。その理由に注目してください。かれらは信仰だけを理由に虐げられ、追放されたのです。この許可は不正を止めるためのものであり、人々にイスラームを強制するためではありません。

続くクライシュ族の脅威

クライシュ族は、ムスリムがマディーナで安らかに暮らすことを許しませんでした。かれらはムスリムが聖なるマスジドへ行くことも妨げていました。ある真正なハディースが、その様子を伝えています。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

ハディース：マッカでのサアド・ブン・ムアーズ

アウス族の長サアド・ブン・ムアーズ رضي الله عنه は、ウムラを行うためにマッカへ行き、旧友ウマイヤ・ブン・ハラフの家に身を寄せた。かれがタワーフをしていると、アブー・ジャハルが出会って言った。「お前たちはムハンマドとその仲間をかくまっておきながら、安心してカアバを回っているのか。」アブー・ジャハルはさらに言った。「アブー・サフワーン（ウマイヤ）と一緒でなければ、お前は無事に家族のもとへ帰れなかっただろう。」サアドは答えた。「アッラーにかけて、もしお前が私をこれから妨げるなら、私はお前にとってもっと重大なものを妨げよう。マディーナを通るお前たちの（交易の）道だ。」

評価：真正 — 『サヒーフ・ブハーリー』3950（要約。このハディースは、バドルで実現したウマイヤの死の予告にも触れている）。

サアドの答えは、マディーナの戦略的な位置を示しています。シャームへ向かうクライシュ族の隊商は、マディーナの近くを通らなければなりませんでした。これが、次の章で語る遠征の背景です。

教訓

イスラームは急いで武器を取ることはしませんでした。マッカでの十三年の忍耐、そしてマディーナでの条件付きの許可は、イスラームにおける戦いが不正を退けるための最後の手段であり、礼節と限度によって縛られていることを示しています。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

バドル以前のガズワとサリーヤ

スィーラ学者は二つの用語を区別します。**ガズワ**は、アッラーの使徒 ﷺ ご自身が参加された遠征です。**サリーヤ**（またはバアス）は、使徒が教友の一人を指揮官として送り出した部隊です。マディーナ到着からバドルの戦いまでの間に、スィーラ書はいくつかの小さな遠征を記録しています。その多くは戦闘にならずに終わりました。

遠征と時期（スィーラ書による）	指揮官と人数	何が起きたか
サイフ・アル＝バフルのサリーヤ — ヒジュラ暦 1 年ラマダーン月	ハムザ・ブン・アブドゥルムッタリブ；ムハージルーン 30 人	海岸でアブー・ジャハルの隊商（約 300 人）と遭遇；マジュディー・ブン・アムル・アル＝ジュハニーが仲裁し、戦闘なし。一部のスィーラ学者によれば、イスラーム最初の旗。
ラービグのサリーヤ — ヒジュラ暦 1 年シャウワール月	ウバイダ・ブン・アル＝ハーリス；ムハージルーン 60 人	アブー・スフヤーンの部隊と遭遇；矢を射交わしただけ。サアド・ブン・アビー・ワッカースがアッラーの道で最初の矢を放った。
アル＝ハッラールのサリーヤ — ヒジュラ暦 1 年ズル・カアダ月	サアド・ブン・アビー・ワッカース；20 人	隊商はすでに通り過ぎていた；戦闘なしで帰還。
アル＝アブワー（ワッダーン）のガズワ — ヒジュラ暦 2 年サファル月	アッラーの使徒 ﷺ；ムハージルーン約 70 人	戦闘なし；ダムラ族と和平の盟約。
ブワートのガズワ — ヒジュラ暦 2 年ラビーウ・アル＝アウワル月	アッラーの使徒 ﷺ；約 200 人	ウマイヤ・ブン・ハラフの隊商を探したが、出会わなかった。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

遠征と時期（スィーラ書による）	指揮官と人数	何が起きたか
サファワーンのガズワ（第一次バドル）— ヒジュラ暦 2 年ラビーウ・アル＝アウワル月	アッラーの使徒 ﷺ	マディーナの家畜を奪ったクルズ・ブン・ジャービル・アル＝フィフリーを追跡；かれは逃げ去った。
アル＝ウシャイラのガズワ — ヒジュラ暦 2 年ジュマーダー・アル＝ウーラー月／アル＝アーヒラ月	アッラーの使徒 ﷺ；150〜200 人	シャームへ向かうアブー・スフヤーンの隊商はすでに通り過ぎていた；ムドリジ族と盟約。この隊商の帰りを待ったことが、バドルにつながった。
ナフラのサリーヤ — ヒジュラ暦 2 年ラジャブ月	アブドゥッラー・ブン・ジャフシュ；ムハージルーン 12 人	次の章を参照。

表の典拠：イブン・ヒシャーム『預言者伝』；イブン・サアド『大列伝（タバカート）』；ムバーラクフーリー『封印された美酒』。日付・人数・地名はスィーラ書の伝承で、典拠によって多少の違いがある。ウィキペディア「List of expeditions of Muhammad」も参照。

真正なハディースは何と言っているか

イマーム・ブハーリーは『遠征の書（キターブ・アル＝マガーズィー）』を、アル＝ウシャイラのガズワの章で始めています。かれはイブン・イスハークの言葉を引いています。「預言者 ﷺ の最初のガズワはアル＝アブワー、次にブワート、次にアル＝ウシャイラである。」続いてザイド・ブン・アルカム رضي الله عنه のハディースを挙げています。預言者 ﷺ が何回戦われたかと尋ねられたザイドは十九回と答え、最初はアル＝ウサイラまたはアル＝ウシャイルであったと述べました（『サヒーフ・ブハーリー』3949）。イブン・ハジャルは、ザイドは自分が知る限りの最初のものを挙げたのであり、それより早い遠征をかれは知らなかったのかもしれないと説明しています。

サアド・ブン・アビー・ワッカース رضى الله عنه 自身もこう言っています。「本当に私は、アッラーの道で矢を放った最初のアラブ人である」（『サヒーフ・ブハーリー』3728）。スィーラ学者は、この出来事をラービグでのウバイダ・ブン・アル＝ハーリスのサリーヤに結びつけています。

これらの遠征の目的

目的	説明
敵の経済を封じる	クライシュ族はマッカでムハージルーンの財産を奪った；かれらの交易路はマディーナ周辺を通っていた。
部族との盟約	ダムラ族とムドリジ族がクライシュ族を助けないと約束――マディーナの境界の安全を確保。
訓練と偵察	教友たちがマディーナ周辺の道、井戸、部族を知るようになった。
力を示す	クライシュ族と諸部族は、ムスリムがもはや弱い集団ではないことを知った。

教訓

初期の遠征の多くは、流血ではなく盟約で終わりました。アッラーの使徒 ﷺ は外交と安全を優先し、大きな戦いが起こる前に諸部族と同盟を築かれました。賢明な指導者は戦いに備えつつも、平和を求めるのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

ナフラのサリーヤと聖月

スィーラ書によれば、ヒジュラ暦 2 年のラジャブ月、アッラーの使徒 ﷺ はアブドゥッラー・ブン・ジャフシュ رضى الله عنه を十二人のムハージルーンと共に送り出されました。使徒はかれに一通の手紙を渡し、二日間旅をしてから開くよう命じられました。開いてみると、手紙はマッカとターイフの間にあるナフラへ行き、クライシュ族の動きを探るよう命じていました。アブドゥッラーは仲間たちに選ばせましたが、全員が旅を続けることを選びました。

ナフラでかれらは、クライシュ族の小さな隊商に出会いました。その日は、アラブ人が尊んだ聖月の一つであるラジャブ月の最後の日でした。かれらは話し合った末に攻撃し、アムル・ブン・アル＝ハドラミーが殺され、二人が捕虜となり、隊商はマディーナへ運ばれました。アッラーの使徒 ﷺ はこれを認めず、「私はあなたがたに聖月に戦うよう命じてはいない」と言われました。一方クライシュ族は、ムハンマドが聖月を汚したという非難を広めました。（イブン・ヒシャーム『預言者伝』；イブン・イスハークの伝承。）

そこでアッラーの御言葉が下されました。「かれらは聖月中に戦争することに就いて，あなたに問うであろう。言ってやるがいい。『聖月中に戦うことは重大事である。だがアッラーの道に近付くのを妨げ，かれを否定し，また聖なるマスジドを汚し，そこ（の聖域）に住む者を追放することは，アッラーの御目にはもっと重大事である。迫害は，殺害より遙かに悪い。』」（雌牛章 2:217）。

イブン・カスィールと注釈者たちは、この節がアブドゥッラー・ブン・ジャフシュのサリーヤについて下されたと述べています（『タフスィール・イブン・カスィール』2:217）。このサリーヤの詳しい話はイブン・イスハークと注釈書を通して伝わっており、『サヒーフ・ブハーリー』には見られませんが、スィーラ学者に広く受け入れられています。

クルアーンの公正さ

この節は、聖月に戦うことの過ちを否定してはいません。それを「重大事」と認めています。しかし同時に公正な秤を示しています。非難したクライシュ族自身が、人々をアッラーの宗教から妨げ、マッカの住民を追放し、信者たちを迫害するという、もっと大きな過ちを犯していたのです。クルアーンは教友の過ちをやみくもにかばうこともなく、敵が清廉を装うことも許しません。

教訓

指導者の命令に従うことはとても大切です。アッラーの使徒 ﷺ は、命令を越えて行動した部隊をたしなめられました。非難を評価する時には公正でなければなりません。自分の過ちを認めつつ、非難する側の過ちも公平に量るのです。

ヒジュラ暦 1〜2 年の年表

次の表は、本書の出来事を時の順に並べたものです。正確な日付の多くはスィーラ書によるもので、典拠によって多少異なります。真正なハディースで確かめられるものは、その典拠を記しています。

時期	出来事	典拠
ヒジュラ暦 1 年ラビーウ・アル＝アウワル月	アッラーの使徒 ﷺ がクバーとマディーナに到着；アブドゥッラー・ブン・サラームの入信；「サラームを広めなさい」の教え	ブハーリー 3906、3911；ティルミズィー 2485
ヒジュラ暦 1 年	預言者のモスクと使徒の家族の部屋の建設；アフル・アッ＝スッファ	ブハーリー 3932、6452
ヒジュラ暦 1 年	アナスの家でのムハージルーンとアンサールの兄弟の契り	ブハーリー 2294；人数：イブン・サアド
ヒジュラ暦 1 年	アザーンが定められる；ビラールが最初のムアッズィンに	ブハーリー 604；アブー・ダーウード 499
ヒジュラ暦 1 年	マディーナ憲章が書かれる	イブン・イスハーク；アブー・ウバイド
ヒジュラ暦 1 年	アブドゥッラー・ブン・アッ＝ズバイル誕生――ムハージルーン最初の赤子	ブハーリー 3909
ヒジュラ暦 1 年ラマダーン月〜ズル・カアダ月	ハムザ、ウバイダ、サアドのサリーヤ	イブン・ヒシャーム；ブハーリー 3728
ヒジュラ暦 2 年サファル月〜ジュマーダー・アル＝アーヒラ月	アル＝アブワー、ブワート、サファワーン、アル＝ウシャイラのガズワ	ブハーリー 3949；イブン・ヒシャーム
ヒジュラ暦 2 年ラジャブ月	ナフラのサリーヤ	雌牛章 2:217；イブン・イスハーク

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

時期	出来事	典拠
ヒジュラ暦 2 年ラジャブ月／シャアバーン月	キブラがカアバへ――ヒジュラから 16 か月または 17 か月後	ブハーリー 40、403、4486
ヒジュラ暦 2 年シャアバーン月	ラマダーンの斎戒が義務に；ザカート・アル＝フィトル	雌牛章 2:183；スィーラ書
ヒジュラ暦 2 年ラマダーン月 17 日	バドルの戦い（第 9 巻）	イムラーン家章 3:123；スィーラ書

すべてを変えた十八か月

およそ十八か月のうちに、貧しい移住者の一団と、和解したばかりの地元の住民は、一つの完成された社会となりました。モスクがあり、兄弟の契りがあり、憲章があり、アザーンというしるしがあり、独自のキブラがあり、斎戒とザカートの崇拝があり、自らを守れる部隊がありました。これらすべてが、バドルという大きな試練の前に整えられたのです。

教訓

社会の建設は段階を追って秩序立てて行われました。まず霊的な面（モスクと礼拝）、次に社会的な面（兄弟の契り）、次に法（憲章）、そして崇拝と防衛です。この順序は、共同体を築こうとするすべての人への手引きとなります。心から始め、次に人間関係、それから規則へと進むのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

マディーナ社会についてのよくある質問

1. ヒジュラからバドルの戦いまでの期間はどれくらいですか。

約十八か月です。ヒジュラ暦 1 年ラビーウ・アル＝アウワル月から、ヒジュラ暦 2 年ラマダーン月 17 日までです。本書の出来事はすべてこの期間に起こりました（年表を参照）。

2. アッラーの使徒ﷺがマディーナで最初に建てられたものは何ですか。

モスクです。使徒は二人の孤児の土地を買い、教友たちと共に預言者のモスクを建てられました（ブハーリー 3932）。モスクは礼拝、学び、行政、福祉の中心となりました（第 2 章）。

3. 何人が兄弟として結ばれましたか。

スィーラ書（イブン・サアド）は九十人――ムハージルーン四十五人とアンサール四十五人――としています。真正なハディースが述べているのは場所、つまりアナス・ブン・マーリクの家だけです（ブハーリー 2294）。

4. 兄弟の契りによって互いに相続しましたか。

はい、初めはそうでした。その後この規定は廃止されて相続は近親者に戻り、助け合いの関係と遺言は残りました（女性章 4:33；ブハーリー 4580）。第 6 章を参照。

5. マディーナ憲章は『サヒーフ・ブハーリー』にありますか。

全文はありません。イブン・イスハークと、『財貨の書』のアブー・ウバイドが、完全につながった伝承経路なしに伝えています。しかし、マディーナを聖域とすることや共同の責任など、その要点のいくつかは真正なハディースと一致しています（第 12〜13 章）。

6. アザーンの文言はどのように定められましたか。

教友たちは礼拝への呼びかけ方について話し合いました。ウマルが一人の男による呼びかけを提案し、ビラールが呼びかけるよう命じられました（ブハーリー 604）。アザーンの文言はアブドゥッラー・ブン・ザイドの夢の中で示され、使徒によって認められました（アブー・ダーウード 499、ハサン・サヒーフ）。第 9〜10 章を参照。

7. 使徒がマディーナの人々に最初に語られた言葉は何ですか。

「サラームを広め、食べ物を与え、血縁の絆を結び、人々が眠っている夜に礼拝しなさい。そうすれば、あなたがたは平安のうちに楽園に入るであろう」（ティルミズィー 2485、真正）。

8. 戦いが初めて許されたのはいつですか。

ヒジュラの後、巡礼章 22:39「戦いをし向ける者に対し（戦闘を）許される。それはかれらが悪を行うためである」が下された時です。それ以前、マッカでは、ムスリムは忍耐するよう命じられていました。

9. ガズワとサリーヤの違いは何ですか。

ガズワはアッラーの使徒 ﷺ ご自身が参加された遠征で、サリーヤは使徒が教友を指揮官として送り出した部隊です。ザイド・ブン・アルカムは、預言者 ﷺ が十九回戦われたと述べています（ブハーリー 3949）。

10. 最初のガズワについて典拠が異なるのはなぜですか。

イブン・イスハークはアル＝アブワーを最初とし、ザイド・ブン・アルカムはアル＝ウサイラを挙げています（ブハーリー 3949）。イブン・ハジャルは、ザイドは自分が知っていることを述べたのであり、両者は両立できると説明しています。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

11. キブラがカアバへ移ったのはいつですか。

エルサレムに向かって 16 か月または 17 か月礼拝した後（ブハーリー 40、4486）、つまりヒジュラ暦 2 年のラジャブ月かシャアバーン月ごろです。第 18〜19 章を参照。

12. マディーナの住民は皆イスラームに入りましたか。

いいえ。ムハージルーンとアンサールのほかに、マディーナ憲章で結ばれたユダヤ教徒の諸部族、まだイスラームに入っていない一部のアラブ人、そして後にはアブドゥッラー・ブン・ウバイが率いる偽信者たちがいました（第 16 章）。マディーナ憲章は、これらすべての集団の関係を整えたのです。

教訓

マディーナ初期の多くの事柄は真正で明らかです。一方、スィーラ書から伝わり、細部に違いがあるものもあります。その二つを区別することは、スィーラへの愛を減らすことではなく、知識の預かりものを守ることなのです。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

教訓と結び

マディーナ社会の建設は、大きな**教訓**を残しました。

社会の土台	教訓
モスク	崇拝、学び、団結の中心。
兄弟の契り	信仰は部族、財産、血筋に優先する。
イーサールとイッファ	富める者は与え、貧しい者は尊厳を保って努力する。
協議	アザーンのことは話し合いの後に決められた。
成文の盟約	各集団の権利と責任が明らかにされた。
忍耐	内に潜む敵を許す。
すみやかな服従	礼拝の途中でカアバへ向きを変えた。
独自のしるし	このウンマに固有のアザーン、キブラ、斎戒。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

結び

およそ**二年**のうちに、マディーナは分裂した町から**兄弟の社会**へと変わりました。ナツメヤシの葉の屋根を持つモスクを中心とし、公正な盟約で結ばれ、一人の元奴隷の声によって一日五回アッラーへと呼ばれる社会です。アッラーの御言葉はまことです。「**信者たちは兄弟である。**」

イン・シャー・アッラー、『**預言者伝（スィーラ）**』シリーズは**バドルの戦い**（第 9 巻）へと続きます。真理と虚偽の最初の戦い、識別（フルカーン）の日です。アッラーこそ最もよく知っておられます。

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

参考文献

クルアーンとタフスィール

聖クルアーン、ウスマーン版のアラビア語本文と三田了一訳。https://quran.com/ms

イブン・カスィール『偉大なるクルアーンの解釈』（2:143–144；2:183；3:103；4:33；49:10；59:9）。https://tafsir.app/ibn-katheer/2/144

ハディース

『サヒーフ・ブハーリー』17、403、604、1427、1503、1870、1876、1880、1885、1968、2004、2129、2292、2294、2325、3754、3777、3780、3798、3909、3932、4486、4566、6452。https://sunnah.com/bukhari

『サヒーフ・ムスリム』2054。https://sunnah.com/muslim

『スナン・アビー・ダーウード』499。https://sunnah.com/abudawud:499

スィーラと歴史の書

イブン・ヒシャーム『預言者伝』（イブン・イスハークからの伝承）――兄弟の契り、憲章、キブラ変更の章。

イブン・サアド『大列伝（タバカート）』。

サフィッユッラフマーン・アル＝ムバーラクフーリー『封印された美酒（アッ＝ラヒーク・アル＝マフトゥーム）』――マディーナの新しい社会の章。

イブン・ハジャル・アル＝アスカラーニー『ファトフ・アル＝バーリー（サヒーフ・ブハーリー注釈）』。

ウィキペディア「Constitution of Medina」。https://en.wikipedia.org/wiki/Constitution_of_Medina

ウィキペディア「Qibla」。https://en.wikipedia.org/wiki/Qibla

ウィキペディア「Ahl al-Suffa」。https://en.wikipedia.org/wiki/Ahl_al-Suffa

ウィキペディア「ビラール・ブン・ラバーフ」。https://en.wikipedia.org/wiki/Bilal_ibn_Rabah

© 2026 年 / 1448 AH 著作権所有 Hj Che Alim Hj Che Haron — ムスリムのための無料版 |

ハディースと追加の典拠

『ジャーミウ・アッ＝ティルミズィー』2485（サラームを広めなさい）。https://sunnah.com/tirmidhi:2485

『サヒーフ・ブハーリー』12（最も優れたイスラーム）。https://sunnah.com/bukhari:12

『サヒーフ・ムスリム』54（あなたがたの間でサラームを広めなさい）。https://sunnah.com/muslim:54

『サヒーフ・ブハーリー』3950（マッカでのサアド・ブン・ムアーズ）。https://sunnah.com/bukhari:3950

『サヒーフ・ブハーリー』3949（十九回のガズワ）。https://sunnah.com/bukhari:3949

『サヒーフ・ブハーリー』3728（サアドの最初の矢）。https://sunnah.com/bukhari:3728

イブン・カスィール『タフスィール』22:39。https://tafsir.app/ibn-katheer/22/39

イブン・カスィール『タフスィール』2:217。https://tafsir.app/ibn-katheer/2/217

ウィキペディア「List of expeditions of Muhammad」。https://en.wikipedia.org/wiki/List_of_expeditions_of_Muhammad

ウィキペディア「Nakhla raid」。https://en.wikipedia.org/wiki/Nakhla_raid

支援と寄付

この電子書籍はムスリムのために**完全に無料**で発行されており、**決して販売してはなりません**。研究費、ウェブサイト quranscience.my の運営費、そして次の電子書籍の発行のためのご寄付を心から歓迎します – ただし、**義務ではありません**。アッラーがすべてのご寄付を継続する施し（サダカ・ジャーリヤ）としてお受け入れくださいますように。

雌牛章 2:261

مَّثَلُ ٱلَّذِينَ يُنفِقُونَ أَمۡوَٰلَهُمۡ فِي سَبِيلِ ٱللَّهِ كَمَثَلِ حَبَّةٍ أَنۢبَتَتۡ سَبۡعَ سَنَابِلَ فِي كُلِّ سُنۢبُلَةٖ مِّاْئَةُ حَبَّةٖۗ وَٱللَّهُ يُضَٰعِفُ لِمَن يَشَآءُۚ وَٱللَّهُ وَٰسِعٌ عَلِيمٌ ٢٦١

アッラーの道のために自分の所有するものを施す者を例えてみれば、ちょうど 1 粒が 7 穂を付け、1 穂に百粒を付けるのと同じである。アッラーは御心に適う者に、倍加してくださる。アッラーは厚施にして全知であられる。

訳：三田了一 — quran.com/2:261

サバア章 34:39

قُلۡ إِنَّ رَبِّي يَبۡسُطُ ٱلرِّزۡقَ لِمَن يَشَآءُ مِنۡ عِبَادِهِۦ وَيَقۡدِرُ لَهُۥۚ وَمَآ أَنفَقۡتُم مِّن شَيۡءٖ فَهُوَ يُخۡلِفُهُۥۖ وَهُوَ خَيۡرُ ٱلرَّٰزِقِينَ ٣٩

言ってやるがいい。『本当にわたしの主は、そのしもべの中から御心に適う者に、御恵みを豊かに与えまた或る者には乏しく授けられる。かれはあなたがたが（主の道のために）施すものはすべて返される。かれは最も優れた御恵を与える方であられる。』

訳：三田了一 — quran.com/34:39

ハディース — 『サヒーフ・ムスリム』第 2588 番

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ أَيُّوبَ، وَقُتَيْبَةُ، وَابْنُ، حُجْرٍ قَالُوا حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ، - وَهُوَ ابْنُ جَعْفَرٍ - عَنِ الْعَلاَءِ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، عَنْ رَسُولِ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ « مَا نَقَصَتْ صَدَقَةٌ مِنْ مَالٍ وَمَا زَادَ اللَّهُ عَبْدًا بِعَفْوٍ إِلاَّ عِزًّا وَمَا تَوَاضَعَ أَحَدٌ لِلَّهِ إِلاَّ رَفَعَهُ اللَّهُ ».

訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه によれば、アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「施しは財産を減らさない。人を赦すしもべに、アッラーは尊厳しか増し加えない。アッラーのためにへりくだる者を、アッラーは必ず高められる。」

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ヤフヤー・ブン・アイユーブ、クタイバ・ブン・サイードとアリー・ブン・フジュル ← イスマーイール・ブン・ジャアファル ← アル＝アラー・ブン・アブドゥッラフマーン ← 父 アブドゥッラフマーン・ブン・ヤアクーブ ← アブー・フライラ رضى الله عنه。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』善行・親族の絆・作法の書、赦しと謙虚さを勧めることの章、ハディース第 2588 番。

等級： サヒーフ（真正）―『サヒーフ・ムスリム』に収録。

典拠：https://sunnah.com/muslim:2588

ハディース ― 『サヒーフ・ムスリム』第 1631 番

حَدَّثَنَا يَحْيَى بْنُ أَيُّوبَ، وَقُتَيْبَةُ، - يَعْنِي ابْنَ سَعِيدٍ - وَابْنُ حُجْرٍ قَالُوا حَدَّثَنَا إِسْمَاعِيلُ، - هُوَ ابْنُ جَعْفَرٍ - عَنِ الْعَلاَءِ، عَنْ أَبِيهِ، عَنْ أَبِي هُرَيْرَةَ، أَنَّ رَسُولَ اللَّهِ صلى الله عليه وسلم قَالَ « إِذَا مَاتَ الإِنْسَانُ انْقَطَعَ عَنْهُ عَمَلُهُ إِلاَّ مِنْ ثَلاَثَةٍ إِلاَّ مِنْ صَدَقَةٍ جَارِيَةٍ أَوْ عِلْمٍ يُنْتَفَعُ بِهِ أَوْ وَلَدٍ صَالِحٍ يَدْعُو لَهُ ».

訳：

アブー・フライラ رضى الله عنه によれば、アッラーの使徒 ﷺ は言われた。「人が死ぬと、その行いは三つを除いて途絶える。継続する施し（サダカ・ジャーリヤ）、役に立つ知識、またはその人のために祈る正しい子どもである。」

伝承経路： イマーム・ムスリムの伝承：ヤフヤー・ブン・アイユーブ、クタイバ・ブン・サイードとアリー・ブン・フジュル ← イスマーイール・ブン・ジャアファル ← ア

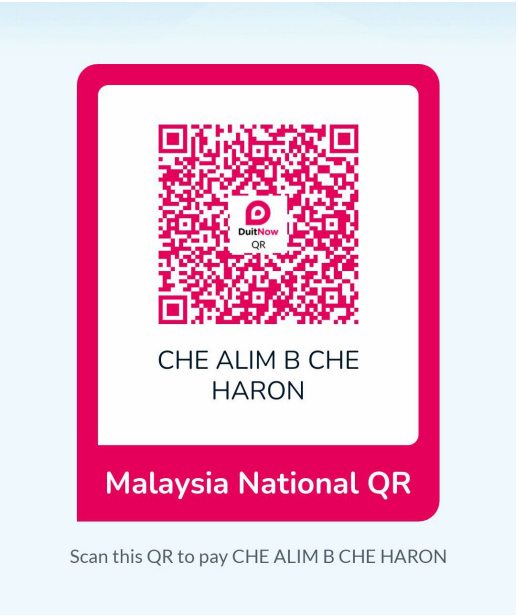
ル＝アラー・ブン・アブドッラフマーン ← 父 アブドッラフマーン・ブン・ヤアクーブ ← アブー・フライラ رضي الله عنه。

出典： イマーム・ムスリム『サヒーフ・ムスリム』遺言の書、死後に人に届く報奨の章、ハディース第 1631 番。

等級： サヒーフ（真正）― 『サヒーフ・ムスリム』に収録。

典拠：https://sunnah.com/muslim:1631

ジャザークムッラーフ・ハイラン・カスィーラ（多大なる善い報いがありますように）



上の QR コード（DuitNow）を読み取って寄付できます。



海外からのご寄付：寄付するボタンをクリックするか、こちらへ paypal.me/quranscience